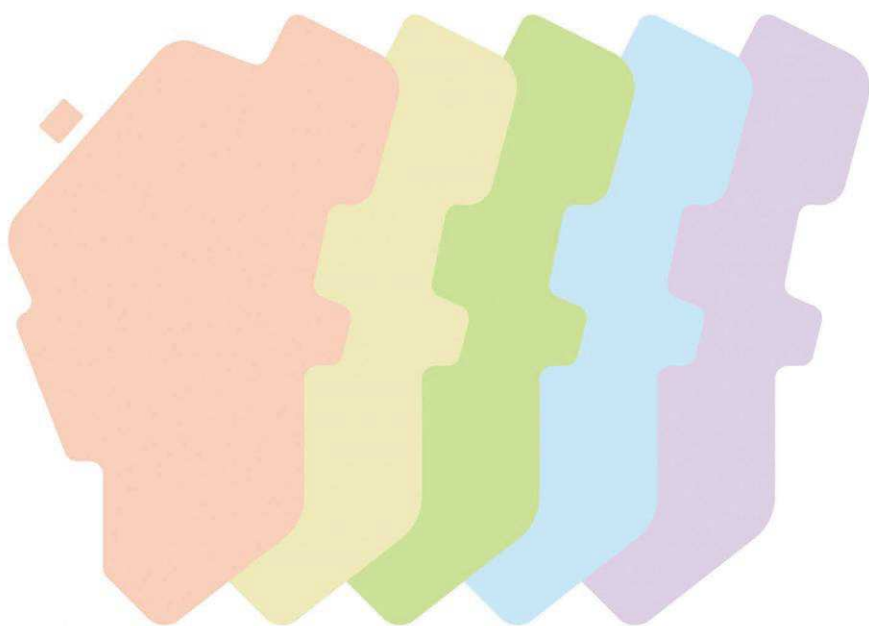


豊中市立図書館 みらいプラン

～すべての人の「わたしの図書館」をめざして～



令和5年（2023年）3月
豊中市教育委員会

目 次

I. 本プランの目的と位置付け	1
1 経過と目的	1
2 計画期間	1
3 位置付け	2
4 基本構想の概要.....	3
(1) 基本方針	3
(2) 施設配置方針	4
(3) (仮称) 中央図書館の概要.....	4
II. 豊中市立図書館の現状分析	5
1 各館利用状況.....	5
(1) 個人登録者数の推移.....	5
(2) 貸出人数の推移.....	7
(3) 貸出冊数の推移.....	9
(4) 貸出者の年齢層.....	10
(5) 利用者数(来館者数)	11
(6) レファレンスサービス	12
(7) 集会室等の利用.....	13
(8) コロナ禍の状況.....	15
2 各館施設現況	16
3 各館の立地.....	17
(1) 各館の立地状況.....	17
(2) 公共交通ネットワークと図書館.....	17
4 図書館運営経費(図書館費の動向)	19
5 現況と課題の整理.....	20
(1) 現況整理	20
(2) 課題整理	21
III. まちづくりの図書館像	23
IV. 豊中市立図書館サービス網の構築	24
1 図書館の位置付け(施設階層)ごとの役割.....	24
2 位置付け(施設階層)ごとの機能	25
3 施設配置の考え方	26
4 中央館の候補地及び施設配置検討	27
(1) 検討手順	27
(2) 中央館候補地	30
(3) 分館及びサービスポイント(既存活用型)の配置.....	35
(4) サービスポイント(交通結節点型)の配置	38

(5) 新たな施設配置.....	39
(6) スケジュール	43
5 新たなサービス展開	44
V. 参考	46
1 各図書館の徒歩圏内（800m）人口の算出	46
2 各図書館への公共交通一路線によるアクセス	47

I 本プランの目的と位置付け



1 経過と目的

豊中市は、令和3年（2021年）2月に、将来ニーズを見据えた新たな図書館サービスの提供と、（仮称）中央図書館を中心とした新たな図書館ネットワークの構築について、今後の方向性を定めた「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」とする）を策定しました。

基本構想に基づき、令和3年度（2021年度）は、民間事業者にサウンディング型市場調査※¹を実施し、（仮称）中央図書館について、候補地となる想定エリアの状況や事業手法、複合化の可能性、魅力ある空間づくりを意見交換しました。また、図書館関係団体との勉強会を開催し、公民学連携の取組みや（仮称）中央図書館の整備に向けた検討状況、電子書籍の導入などについて情報共有、意見交換を行いました。

令和4年度（2022年度）は、市有地に対し、（仮称）中央図書館の候補地としての適性について検討するとともに、民間用地から候補地を募る（仮称）中央図書館候補地における民間用地活用の可能性調査を実施しました。また、基本構想や公共施設等総合管理計画に基づき、（仮称）中央図書館の立地環境や図書館の位置付けにおける役割等について意見交換を行う市民ワークショップを行いました。

これらの取組みを踏まえ、（仮称）中央図書館の候補地を3か所選定するとともに、基本構想の豊中市立図書館の基本方針等の関連内容を具現化し、新たな図書館サービス網を示す「豊中市立図書館みらいプラン」（以下、「みらいプラン」とする）を策定しました。また、パブリックコメントの周知も兼ねて、未来の図書館像について市民と考えるシンポジウムを開催しました。

今後は、みらいプランに基づき、（仮称）中央図書館の計画地を選定し整備を進めるとともに、新たな図書館サービス網の構築に向け取組みを進め、教育文化都市の発展に寄与します。

2 計画期間

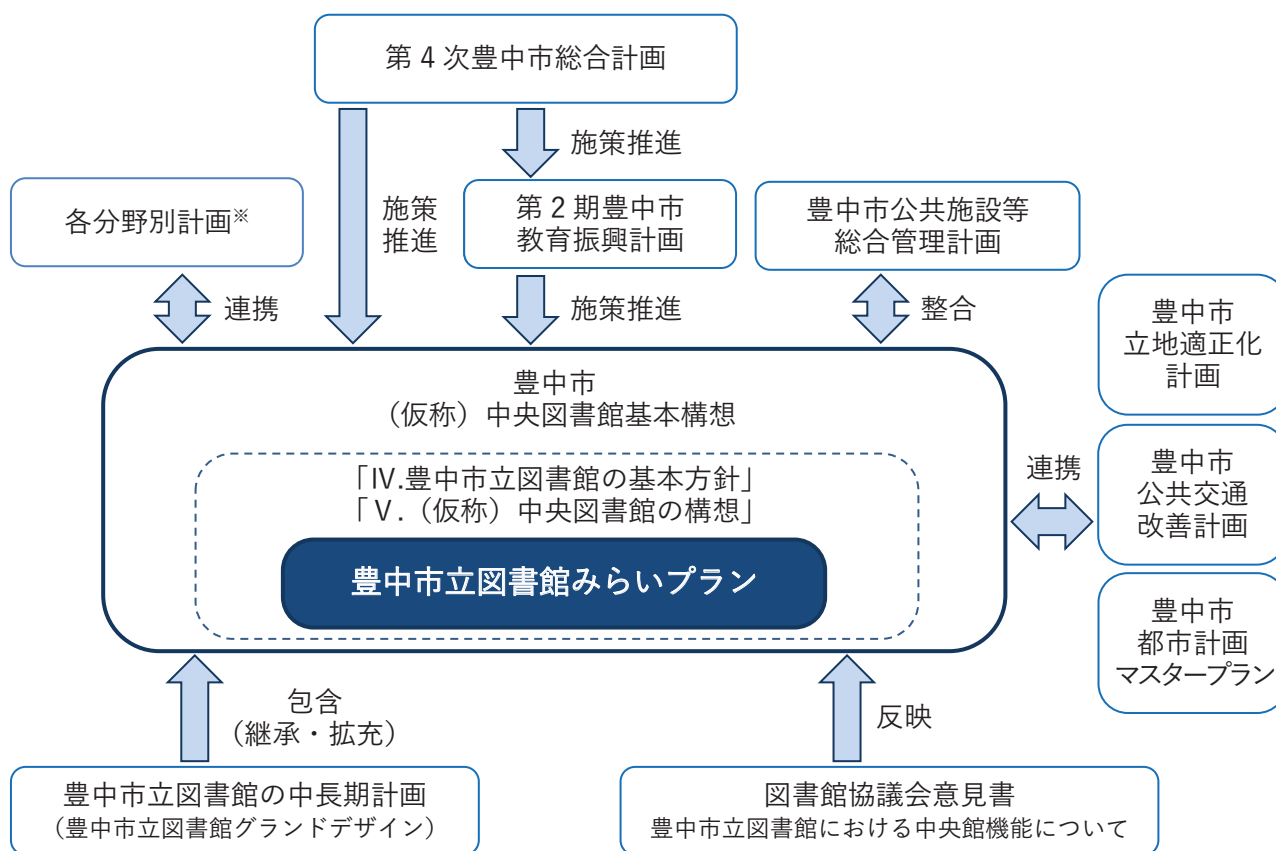
令和5年（2023年）4月から（仮称）中央図書館基本構想の実施期間

※1：サウンディング型市場調査・・・自治体等が取り組む事業について、民間事業者等との対話や情報交換を通じ、新たなアイデアの創出や、事業者の参入意欲の向上を図るもので、全国的に行われている対話手法の一つ。

3 位置付け

みらいプランは、基本構想と同様、図書館行政として「第4次豊中市総合計画」「第2期豊中市教育振興計画」といった上位計画を踏まえ、「豊中市立図書館の中長期計画」を包含するもので、基本構想のうち「IV.豊中市立図書館の基本方針」「V.（仮称）中央図書館の構想」に関連する内容を具現化し、新たな図書館サービス網を示す計画です。

また、公共施設マネジメントを推進する「豊中市公共施設等総合管理計画」、施設立地に関連した「豊中市立地適正化計画」、公共交通によるアクセスに関連した「豊中市公共交通改善計画」、都市計画、まちづくりに関連した「豊中市都市計画マスタープラン」と連携した内容とします。



※各分野別計画には、「第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」を含みます。なお、「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念は、同計画に包含しています。

4 基本構想の概要

(1) 基本方針

基本構想では、基本コンセプト「つながる。わたしの図書館で。」を実現するために、豊中市立図書館がめざす方向性を「3つの基本方針」にまとめ、「主な取組み」を位置付けています。みらいプランは、基本方針の主な取組みを推進する計画です。

<豊中市立図書館の基本コンセプト>

つながる。わたしの図書館で。

市民のニーズや抱える課題が多様化・複雑化している今、

図書館は「つながる」という機能を大切にしたいと考えています。

知や情報、本と人をつなげる。人と人、地域や組織がつながる。過去と今、そして未来をつなぐ。

つながることで新しい可能性をひらき、くらしをより豊かにする。

そして、明日のとよなかへつながる種をまく。

誰もが、自分なりに使い、楽しみ、つながる図書館へ。

豊中市立図書館は、すべての人の「わたしの図書館」であることをめざします。

<豊中市立図書館の3つの基本方針と主な取組み>

(1) すべての市民の「わたしの図書館」へ ～図書館の多様な利用を提案～

サービスポイント※²設置等、利便性確保
による利用者層の多様化

学校連携・アウトリーチ※³等
特徴的な取組みの維持

これからの生活様式に即した
非来館型サービス等の提供

「場としての図書館」の効果的な活用

(2) 知や情報とつなげる ～資源を生かし、市民の情報アクセスを保障～

(仮称) 中央図書館を中心とした
サービス網の構築

デジタル化社会に対応した、
多様な媒体による情報の提供

政策課題や地域課題に
対応する情報の積極的収集

人と人、人と情報をつなぐ
担い手の育成

(3) 未来へつなぐ ～持続可能な組織の構築～

事業コストを意識した運営計画
(目標設定と行程の明確化)

計画的な施設の更新改修と再編

公民連携や自治体間連携の
強化による効率的な管理運営

ICTの積極的な活用による人員配置

※2：サービスポイント・・・予約した図書館資料の受取りや返却ができる場所

※3：アウトリーチ（サービス）・・・通常の方法ではサービスが届かない人たちにサービスを行き渡させるため、より積極的、能動的に図書館が工夫を凝らす活動のこと（出典：最新図書館用語大辞典）

(2) 施設配置方針

基本構想では、豊中市公共施設等総合管理計画に掲げる公共施設等マネジメント基本方針の一つ「戦略的配置、複合化・多機能化の推進」の趣旨に従い、(仮称)中央図書館を中心に、各施設の位置付けと役割を「施設階層」として明確化し、下表の(仮称)中央図書館整備に向けた施設配置の方向性として示しています。

表 1 中央館を中心とした施設配置と想定規模

位置付け (施設階層)	施設数・配置	想定規模
中央館	1 施設を市の中心エリアに整備	5,000 m ² 程度
地域館	2 施設 (庄内・千里)	庄内 1,000 m ² 程度 (専有部のみ) 千里 2,379 m ² (共用部含む)
分館	中央館・地域館を補完 (数施設に集約)	各 500 m ² 程度
サービス ポイント	①鉄道駅等利便性の高い場所 ②他の図書館から離れた場所 に設置	各 50 m ² 程度

(3) (仮称) 中央図書館の概要

(仮称) 中央図書館は、市内全域から比較的アクセスしやすく、庄内図書館や千里図書館の両地域館との配置バランスを考慮すると、市内の主要動線である阪急電鉄宝塚線のうち、市の中心部に近い豊中駅、岡町駅、曽根駅の周辺エリアに位置することが望ましいと考えます。

また、豊中市立地適正化計画の都市機能誘導区域内に優先的に立地させることとしています。

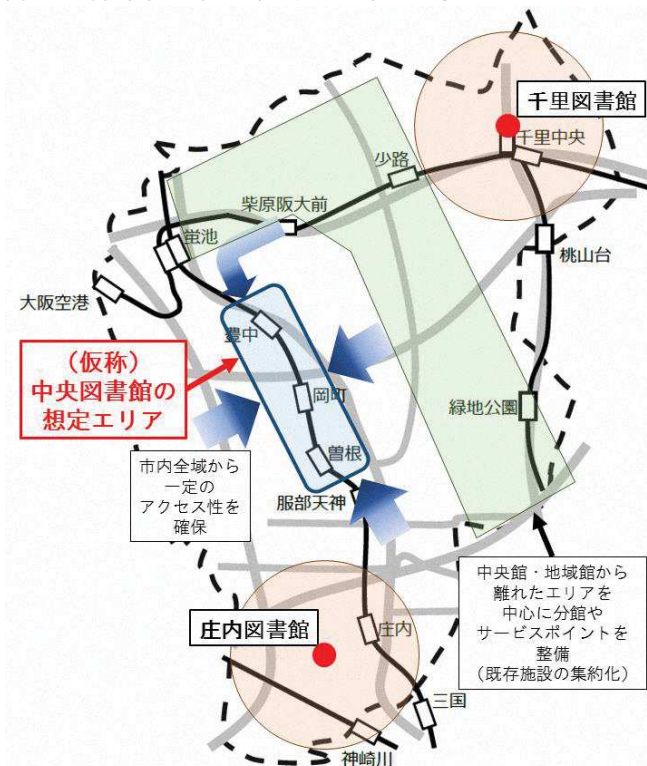


図 1 (仮称) 中央図書館の想定エリアと施設配置のイメージ

II 豊中市立図書館の現状分析



1 各館利用状況

コロナ禍の影響が少ない令和元年度（2019年度）と平成23年度（2011年度）を比較しています

※ 東豊中図書館は、空調工事により令和元年9月～12月（4か月間）に休館したため、休館期間がなかった平成30年度と平成23年度を比較した数値としています

（1）個人登録者数の推移

全館：0.93で0.07ポイント減少

地域館（岡町、庄内、千里、野畑）・分館（東豊中、庄内幸町、服部、高川、螢池）

増加順：千里（1.09）

減少順：庄内幸町（0.54）、庄内（0.83）、高川（0.85）、野畑（0.85）、岡町（0.87）、服部（0.93）、東豊中※（0.97）、螢池（0.99）

図2 個人登録者数の推移

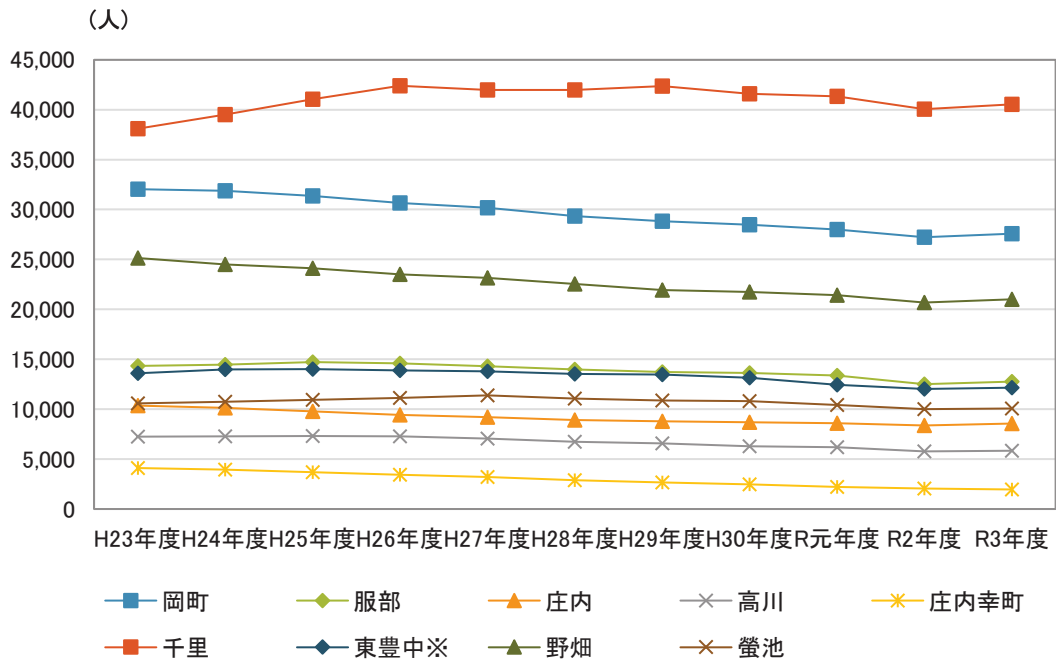


表2 個人登録者数の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町	32,032	31,875	31,348	30,645	30,188	29,338	28,833	28,491	27,996	27,213	27,570	0.87
服部	14,322	14,473	14,712	14,595	14,320	13,972	13,738	13,632	13,391	12,498	12,756	0.93
庄内	10,377	10,140	9,778	9,422	9,196	8,920	8,793	8,695	8,601	8,373	8,562	0.83
高川	7,264	7,274	7,305	7,268	7,061	6,751	6,571	6,290	6,192	5,791	5,839	0.85
庄内幸町	4,109	3,950	3,690	3,436	3,216	2,906	2,681	2,463	2,213	2,042	1,960	0.54
千里	38,082	39,496	41,060	42,394	41,983	41,988	42,374	41,595	41,330	40,063	40,526	1.09
東豊中※	13,613	13,997	14,007	13,883	13,784	13,550	13,462	13,156	12,454	12,016	12,154	0.97
野畑	25,128	24,501	24,112	23,498	23,139	22,543	21,924	21,732	21,438	20,700	21,020	0.85
螢池	10,583	10,745	10,932	11,130	11,382	11,062	10,884	10,808	10,440	10,003	10,067	0.99
合計	155,510	156,451	156,944	156,271	154,269	151,030	149,260	146,862	144,055	138,699	140,454	0.93

次に各館、年齢別に比較しました。

<全館年代別>

増加：80歳以上（1.74）、70～79歳（1.32）、50～59歳（1.23）、18～21歳（1.09）
15～17歳（1.08）

減少：30～39歳（0.67）、0～5歳（0.69）、60～69歳（0.73）、22～29歳（0.74）
9～11歳（0.85）、12～14歳（0.86）、40～49歳（0.94）、6～8歳（0.95）

表 3 個人登録者数の推移（R1/H23）

<年齢別>	岡町	服部	庄内	高川	庄内幸町	千里	東豊中	野畑	螢池	平均
80歳以上	1.54	1.71	1.28	2.41	1.37	1.94	2.14	1.63	2.18	1.74
70～79歳	1.35	1.42	1.03	1.17	0.99	1.33	1.17	1.49	1.62	1.32
60～69歳	0.74	0.70	0.62	0.71	0.49	0.77	0.83	0.70	0.78	0.73
50～59歳	1.10	1.52	0.94	1.37	0.89	1.44	1.35	0.96	1.51	1.23
40～49歳	0.87	1.01	0.79	0.97	0.51	1.12	0.86	0.85	1.03	0.94
30～39歳	0.66	0.65	0.68	0.63	0.38	0.74	0.65	0.59	0.71	0.67
22～29歳	0.66	0.94	0.56	0.90	0.39	0.90	0.72	0.59	0.80	0.74
18～21歳	0.95	1.24	1.01	1.18	0.41	1.18	1.00	1.13	1.44	1.09
15～17歳	0.97	0.97	1.12	0.98	0.37	1.33	1.13	1.02	1.48	1.08
12～14歳	0.84	0.75	1.02	0.50	0.28	1.18	0.97	0.76	0.85	0.86
9～11歳	0.80	0.84	0.87	0.60	0.29	1.13	0.79	0.82	0.76	0.85
6～8歳	0.88	0.89	0.86	0.69	0.36	1.20	0.94	0.99	0.77	0.95
0～5歳	0.73	0.58	0.55	0.69	0.15	0.91	0.54	0.78	0.55	0.69
合計	0.87	0.93	0.83	0.85	0.54	1.09	0.91	0.85	0.99	0.93

1.0超

0.7～1.0以下

0.5～0.7以下

0.5以下

(2) 貸出人数の推移

① 一般

全館：1.01 で微増

地域館・分館

増加順：千里（1.23）、岡町（館内）（1.02）、野畑（1.02）

減少順：庄内幸町（0.44）、高川（0.74）、螢池（0.84）、庄内（0.88）、服部（0.91）、東豊中※（0.99）

- ・地域館の貸出人数は、千里が増加、岡町と野畑が微増、庄内が減少しています
- ・分館全てで貸出人数が減少しています（庄内幸町図書館は、平成 29 年（2017 年）11 月に週 6 日開館から 3 日開館に変更していることから、利用が減少しています。以下同じ）
- ・利倉西センター図書室は、平成 29 年（2017 年）7 月に豊島西小学校のバス図書室から移転し、利用が増加しています。以下同じ

図 3 貸出人数の推移

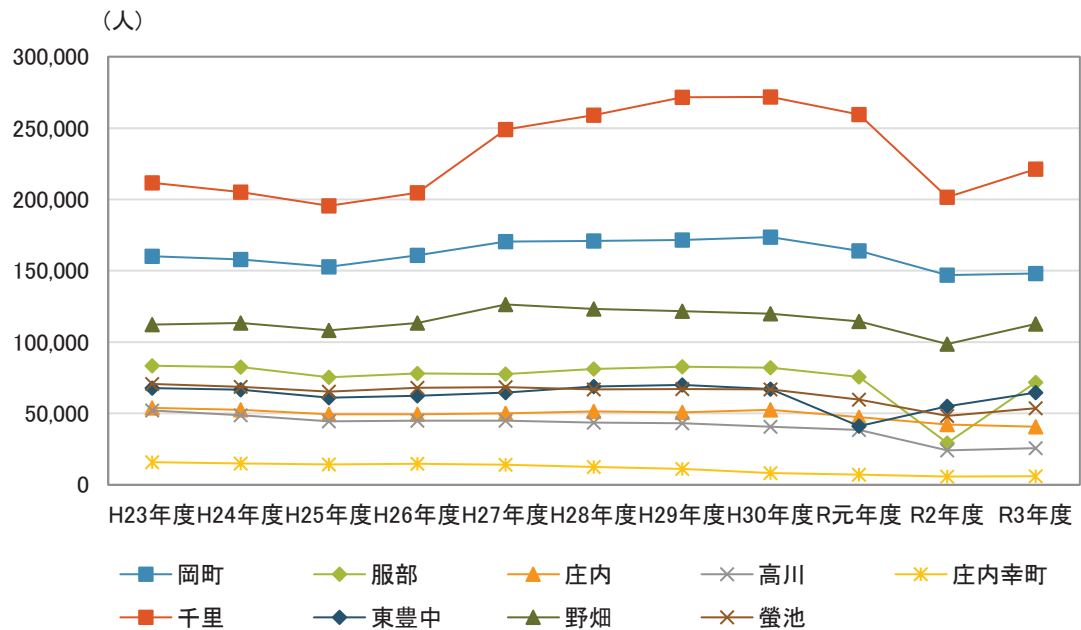


表 4 貸出人数の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町（館内）	149,856	147,681	142,604	149,718	159,077	159,979	160,139	161,785	153,463	136,324	139,675	1.02
動く図書館	5,304	5,256	5,306	6,332	6,519	6,239	5,415	5,197	4,737	3,982	4,534	0.89
いぶき	4,738	4,762	4,597	4,498	4,645	4,549	4,424	4,440	3,916	4,807	2,080	0.83
利倉西	247	207	159	209	239	226	1,566	2,043	1,841	1,871	1,801	7.45
服部	83,276	82,444	75,291	78,067	77,611	81,156	82,668	81,949	75,480	29,307	71,634	0.91
庄内	53,873	52,581	49,293	49,302	49,917	51,446	50,772	52,459	47,293	42,252	40,669	0.88
高川	52,127	48,696	44,508	44,919	44,933	43,620	43,067	40,697	38,445	24,152	25,694	0.74
庄内幸町	15,786	14,791	14,108	14,628	13,992	12,454	11,050	8,243	6,990	5,749	5,952	0.44
千里	211,532	205,234	195,610	204,708	248,991	258,975	271,680	271,824	259,501	201,438	221,166	1.23
東豊中※	67,661	66,533	60,906	62,345	64,549	68,834	70,008	67,096	41,172	55,024	64,673	0.99
野畑	112,231	113,432	108,172	113,308	126,378	123,187	121,748	119,820	114,565	98,684	112,602	1.02
螢池	70,682	68,580	65,260	67,855	68,327	66,719	67,087	66,757	59,674	48,279	53,559	0.84
合計	827,313	810,197	765,814	795,889	865,178	877,384	889,624	882,310	807,077	651,869	744,039	1.01

② 子ども（14歳以下）

全館：1.01 で微増

地域館・分館

増加順：千里（1.48）、東豊中※（1.15）、野畑（1.01）

減少順：庄内幸町（0.20）、高川（0.61）、螢池（0.83）、服部（0.85）、岡町（館内）（0.88）、庄内（0.91）

- ・地域館の子どもの貸出人数は、千里が増加、野畑が微増、庄内と岡町が減少しています
- ・分館の子どもの貸出人数は、東豊中が増加、その他は減少しています

図 4 子どもの貸出人数の推移

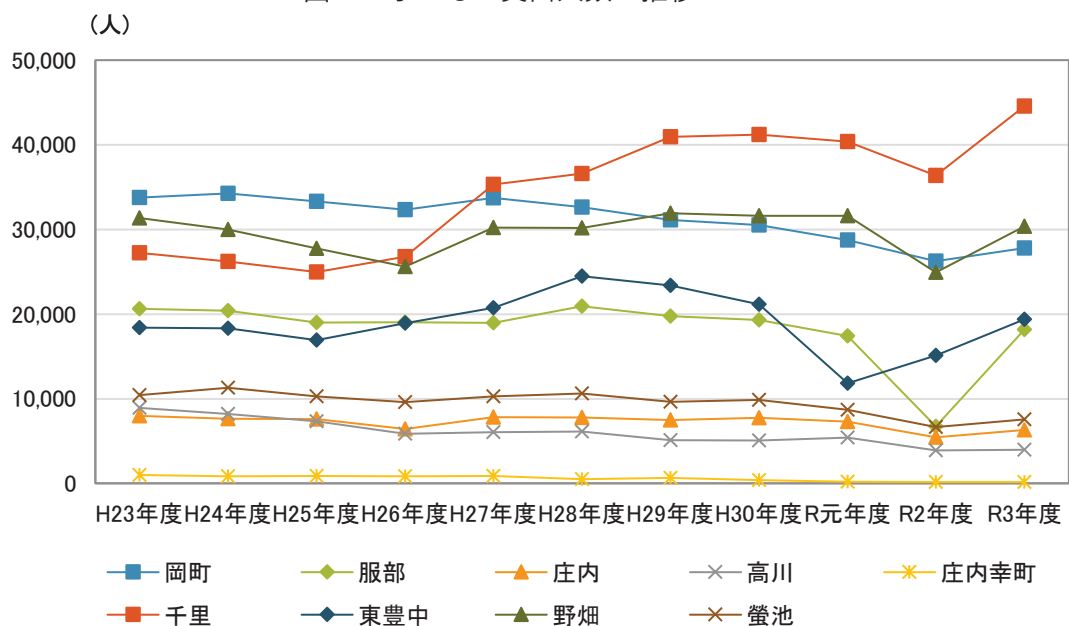


表 5 子どもの貸出人数の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町（館内）	28,482	29,010	28,428	27,171	28,620	28,210	26,825	25,942	25,196	22,923	25,568	0.88
動く図書館	2,234	2,307	2,129	2,168	2,241	2,086	1,986	2,160	1,855	1,584	1,704	0.83
いぶき	2,843	2,865	2,715	2,832	2,730	2,281	1,925	1,954	1,473	1,617	377	0.52
利倉西	215	103	68	168	135	68	397	463	217	148	174	1.01
服部	20,627	20,393	19,004	19,056	18,983	20,921	19,765	19,321	17,437	6,726	18,168	0.85
庄内	7,996	7,634	7,610	6,435	7,838	7,778	7,479	7,772	7,316	5,457	6,325	0.91
高川	8,925	8,199	7,323	5,853	6,052	6,126	5,117	5,082	5,425	3,912	3,984	0.61
庄内幸町	983	837	883	830	893	514	645	378	194	171	172	0.20
千里	27,234	26,234	24,963	26,799	35,306	36,625	40,969	41,233	40,367	36,377	44,594	1.48
東豊中※	18,388	18,342	16,923	18,917	20,728	24,468	23,408	21,163	11,814	15,104	19,399	1.15
野畑	31,342	30,006	27,769	25,634	30,225	30,175	31,913	31,612	31,620	24,954	30,391	1.01
螢池	10,440	11,295	10,280	9,591	10,290	10,618	9,629	9,882	8,684	6,661	7,582	0.83
合計	159,709	157,225	148,095	145,454	164,041	169,870	170,058	166,962	151,598	125,634	158,438	1.01

(3) 貸出冊数の推移

全館：0.91 で 0.09 ポイント減少

地域館・分館

増加順：千里（1.07）

減少順：庄内幸町（0.36）、高川（0.67）、螢池（0.76）、庄内（0.85）、服部（0.86）、
東豊中※（0.91）、野畑（0.93）、岡町（館内）（0.98）

- ・地域館の貸出冊数は、千里が増加、岡町は微減、野畑と庄内は減少しています
- ・分館全てで貸出冊数が減少しています

図 5 貸出冊数の推移

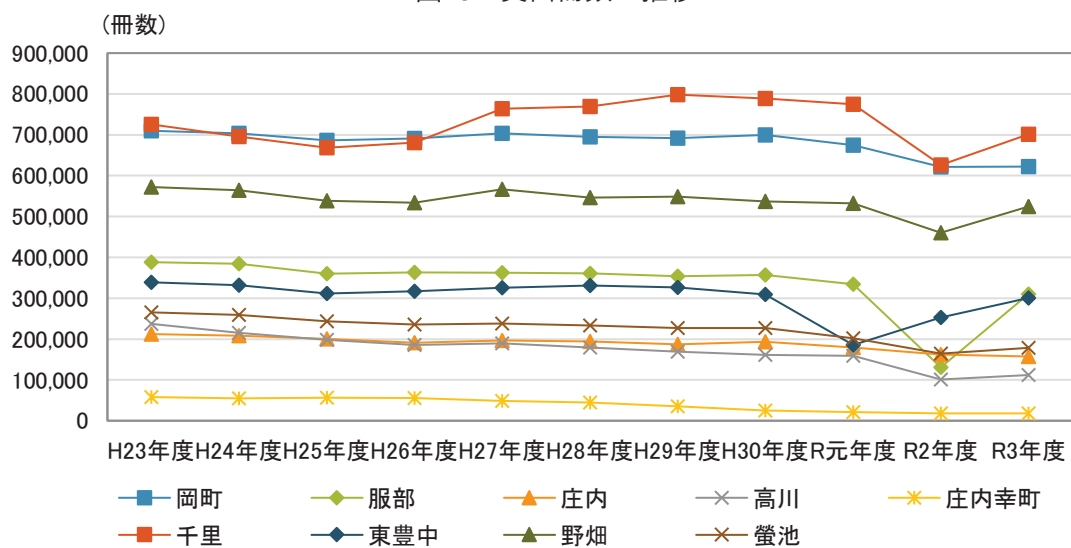


表 6 貸出冊数の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町（館内等）	609,703	603,583	592,186	599,560	614,311	611,131	606,180	612,836	598,020	542,085	558,987	0.98
動く図書館	73,019	72,818	68,567	65,757	64,372	61,571	58,085	57,157	51,523	51,447	51,239	0.71
いぶき	25,428	26,514	25,138	24,379	23,838	21,462	20,111	20,579	18,122	22,214	5,867	0.71
利倉西	1,412	828	636	1,133	1,051	755	7,388	8,928	6,608	5,794	5,783	4.68
服部	388,402	384,024	360,256	363,069	362,445	360,637	354,047	356,683	334,411	131,234	310,069	0.86
庄内	211,868	207,953	200,485	191,380	196,258	193,986	187,119	193,181	179,589	162,102	157,256	0.85
高川	237,351	215,370	197,843	185,723	189,325	179,508	169,205	161,613	158,777	100,950	112,205	0.67
庄内幸町	58,140	54,932	56,279	56,120	48,707	44,517	35,514	25,323	21,141	18,191	18,020	0.36
千里	725,654	695,860	668,523	680,928	763,827	769,459	798,374	789,096	774,881	626,167	701,164	1.07
東豊中※	339,133	331,960	311,483	317,288	325,394	331,375	326,100	309,156	185,858	253,190	300,901	0.91
野畑	572,485	564,203	538,717	534,147	566,322	546,659	548,662	536,599	532,604	460,375	524,584	0.93
螢池	265,761	259,232	243,653	236,070	238,160	233,675	227,346	226,920	201,929	164,271	178,225	0.76
合計	3,508,356	3,417,277	3,263,766	3,255,554	3,394,010	3,354,735	3,338,131	3,298,071	3,063,463	2,538,020	2,924,300	0.91

(4) 貸出者の年齢層

- ・全体で最も多い年齢層は、40～49 歳（19.1%）で、次に 50～59 歳、70～79 歳（15.2%）となっています。40 歳以上の利用が 7 割弱、60 歳以上の割合が 3 割強を占めています
- ・60 歳以上の年齢層が多いのは、庄内、庄内幸町であり、14 歳以下の子どもが多いのは東豊中、野畑、服部です

図 6 貸出者の年齢別割合（令和 3 年）

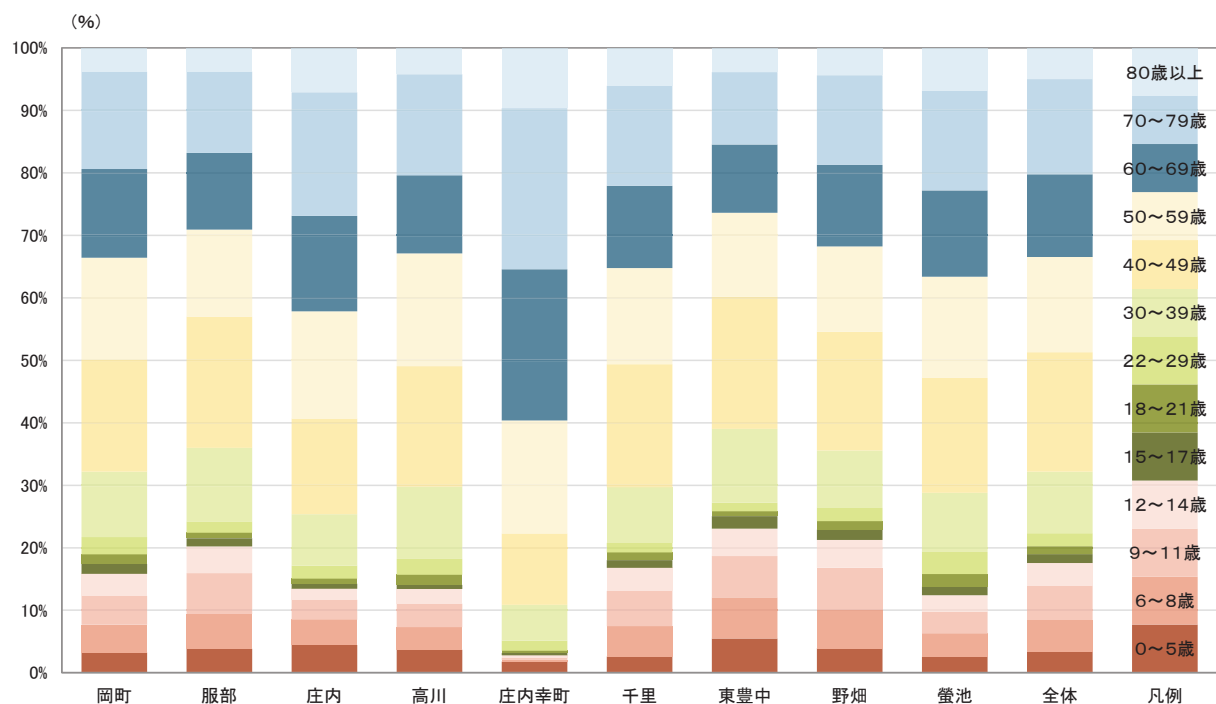


表 7 貸出者の年齢別割合（令和 3 年）

	岡町	服部	庄内	高川	庄内幸町	千里	東豊中	野畑	螢池	全体
0～5歳	3.3%	3.8%	4.4%	3.7%	1.8%	2.6%	5.5%	4.0%	2.5%	3.5%
6～8歳	4.4%	5.6%	4.0%	3.6%	0.3%	4.8%	6.6%	6.1%	3.7%	5.0%
9～11歳	4.6%	6.6%	3.2%	3.8%	0.4%	5.7%	6.6%	6.8%	3.5%	5.4%
12～14歳	3.5%	4.3%	1.8%	2.4%	0.3%	3.7%	4.4%	4.4%	2.6%	3.7%
15～17歳	1.6%	1.3%	0.8%	0.7%	0.4%	1.3%	2.0%	1.6%	1.4%	1.4%
18～21歳	1.6%	0.9%	0.8%	1.6%	0.3%	1.2%	0.8%	1.4%	2.0%	1.3%
22～29歳	2.7%	1.8%	2.1%	2.5%	1.6%	1.5%	1.4%	2.1%	3.5%	2.1%
30～39歳	10.5%	11.8%	8.2%	11.6%	5.8%	8.9%	11.8%	9.2%	9.4%	9.9%
40～49歳	18.0%	21.0%	15.3%	19.3%	11.4%	19.7%	21.1%	19.0%	18.4%	19.1%
50～59歳	16.3%	13.9%	17.1%	18.0%	18.1%	15.4%	13.4%	13.7%	16.2%	15.2%
60～69歳	14.2%	12.3%	15.3%	12.5%	24.2%	13.2%	10.9%	13.0%	13.8%	13.3%
70～79歳	15.6%	13.0%	19.8%	16.2%	25.8%	16.0%	11.6%	14.4%	16.0%	15.2%
80歳以上	3.8%	3.8%	7.1%	4.2%	9.6%	6.1%	3.9%	4.4%	6.8%	5.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 利用者数（来館者数）

利用者数の推移については、コロナ禍の影響が少ない令和元年度（2019年度）と平成26年度（2014年度）を比較しました（入退館用のゲートを導入し平成26年度から利用者数を計数）。

※東豊中図書館は、空調工事により令和元年9月～12月（4か月間）が休館だったため、休館がなかった平成30年度と平成26年度を比較した数値となります。

全館：0.91で0.09ポイント減少

地域館・分館

増加順：－

減少順：庄内幸町（0.40）、螢池（0.83）、服部（0.88）、岡町（0.90）、高川（0.91）、庄内（0.91）、野畑（0.95）、千里（0.96）、東豊中※（0.98）

- ・地域館の利用者数は、千里と野畑は微減、庄内と岡町は減少しています
- ・分館の利用者数は、東豊中が微減、その他は減少しています

図7 年間利用者数の推移

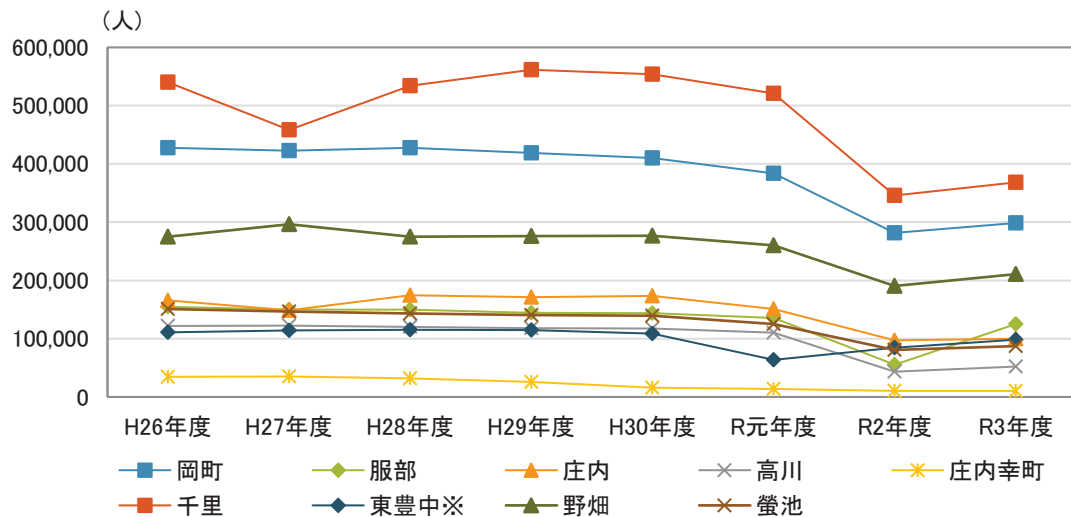


表8 年間利用者数の推移

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H26
岡町	427,502	422,806	427,605	418,533	409,954	383,467	281,776	298,741	0.90
服部	154,897	149,604	149,841	144,618	143,870	135,723	55,568	125,005	0.88
庄内	165,705	148,701	174,758	170,997	173,282	151,028	97,253	99,924	0.91
高川	121,991	122,708	120,233	117,971	117,663	110,642	43,480	51,948	0.91
庄内幸町	34,746	35,175	31,778	25,785	15,953	13,811	10,680	10,528	0.40
千里	539,867	458,394	533,802	561,217	553,509	520,605	345,595	368,275	0.96
東豊中※	110,767	114,389	115,039	114,556	108,453	63,891	84,352	98,276	0.98
野畑	275,091	296,598	274,792	276,313	276,806	260,255	190,590	210,571	0.95
螢池	151,053	146,450	143,530	140,768	139,441	124,954	80,896	87,483	0.83
合計	1,981,619	1,894,825	1,971,378	1,970,758	1,938,931	1,764,376	1,190,190	1,350,751	0.91

(6) レファレンスサービス※4

全館：1.17 で 0.17 ポイント増加

地域館・分館

増加順：東豊中※（2.11）、服部（1.81）、岡町（1.34）、庄内（1.32）、千里（1.13）、
螢池（1.02）

減少順：庄内幸町（0.45）、高川（0.52）、野畑（0.97）

- ・地域館のレファレンスは岡町と庄内、千里が増加、野畑が微減しています
- ・分館のレファレンスは、東豊中と服部が 2 倍近く増加し、螢池は微増、高川と庄内幸町は 5 割近く減少しています

図 8 レファレンスサービスの推移

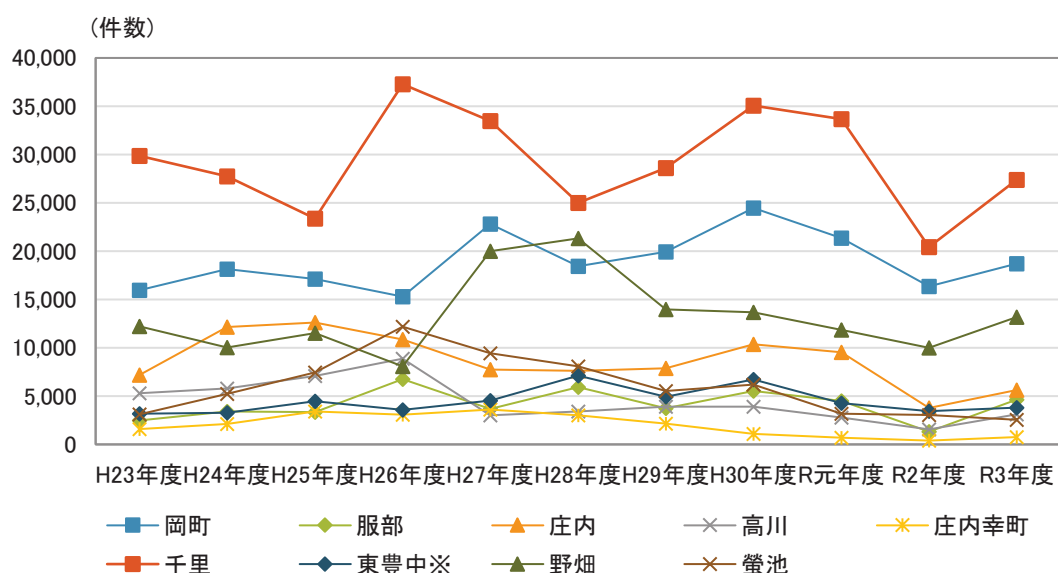


表 9 レファレンスサービスの推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町	15,972	18,132	17,122	15,305	22,816	18,458	19,934	24,486	21,354	16,355	18,724	1.34
服部	2,488	3,414	3,346	6,742	3,670	5,937	3,752	5,510	4,503	1,319	4,616	1.81
庄内	7,192	12,153	12,622	10,861	7,759	7,612	7,889	10,375	9,528	3,770	5,625	1.32
高川	5,286	5,794	7,088	8,856	3,009	3,402	3,894	3,906	2,766	1,558	3,096	0.52
庄内幸町	1,574	2,099	3,411	3,071	3,588	3,020	2,135	1,077	702	393	769	0.45
千里	29,871	27,749	23,373	37,296	33,493	25,011	28,608	35,062	33,689	20,433	27,389	1.13
東豊中※	3,175	3,271	4,456	3,554	4,543	7,120	4,930	6,703	4,262	3,438	3,798	2.11
野畑	12,225	10,023	11,510	8,066	19,999	21,319	13,985	13,679	11,851	10,012	13,190	0.97
螢池	3,098	5,232	7,447	12,172	9,440	8,081	5,528	6,184	3,159	3,036	2,544	1.02
合計	80,881	87,867	90,375	105,923	108,317	99,960	90,655	106,982	91,814	60,314	79,751	1.17

※4：レファレンスサービス・・・調べ物や研究の役に立つ事典類や専門書、過去の新聞などの資料や情報を揃え、日常生活での疑問・質問の答えを探お手伝いをしています。また、本や読書に関する相談をお受けしています。なお、図書館 HP から e メールでレファレンスの申込ができます。(e-レファレンス)

(7) 集会室等の利用

① 利用件数

全館：0.83 で 0.17 ポイント減少

地域館・分館

増加順：庄内幸町（1.27）、服部（1.05）、千里（1.05）

減少順：庄内（0.5）、岡町（0.61）、東豊中※（0.67）、高川（0.81）、野畑（0.98）

- ・ 地域館の集会室等の利用は、千里が微増、野畑が微減、岡町と庄内が減少しています
- ・ 分館の集会室等の利用は、庄内幸町が増加、服部が微増、高川と東豊中が減少しています

図 9 集会室等の利用件数

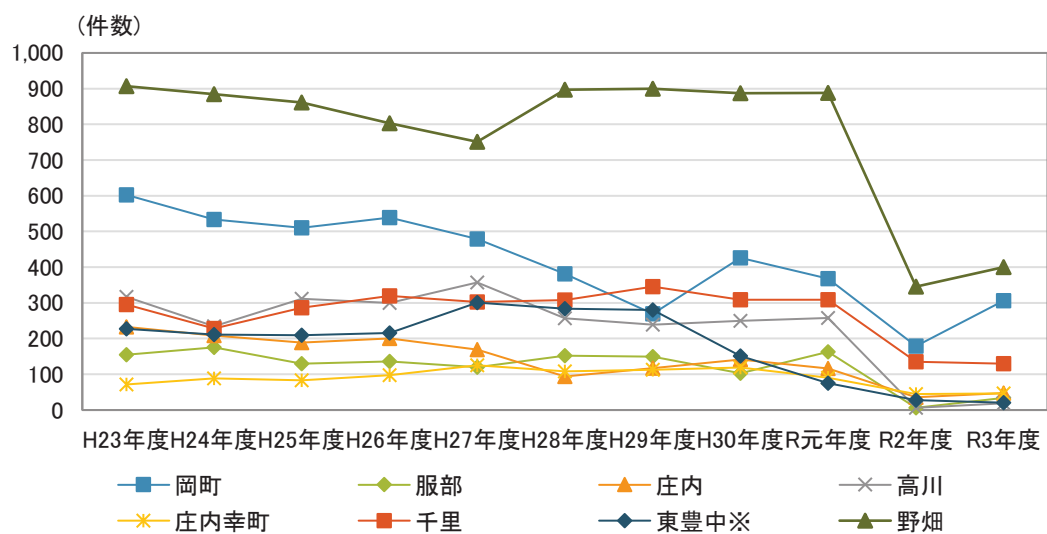


表 10 集会室等の利用件数

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町	602	533	510	539	479	381	269	426	368	179	306	0.61
服部	155	175	130	136	120	152	149	103	163	6	34	1.05
庄内	233	208	189	200	169	94	117	141	116	36	47	0.50
高川	317	234	311	300	357	257	239	250	258	6	19	0.81
庄内幸町	71	88	83	97	125	108	113	119	90	45	46	1.27
千里	295	228	286	319	302	308	345	309	309	135	130	1.05
東豊中※	227	211	209	216	301	284	280	151	75	28	20	0.67
野畑	907	884	861	803	751	897	900	887	888	345	400	0.98
蟹池	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,807	2,561	2,579	2,610	2,604	2,481	2,412	2,386	2,267	780	1,002	0.83

② 利用人数

全館：0.67 で 0.33 ポイント減少

地域館・分館

増加順：千里（1.11）

減少順：東豊中※（0.44）、庄内（0.48）、岡町（0.58）、庄内幸町（0.65）、野畑（0.70）、高川（0.77）、服部（0.93）

- ・地域館の集会室の利用人数は、千里が増加、野畑と岡町、庄内が減少しています
- ・分館は全てで減少していますが、東豊中が5割近く減少しています

図 10 集会室等の利用人数

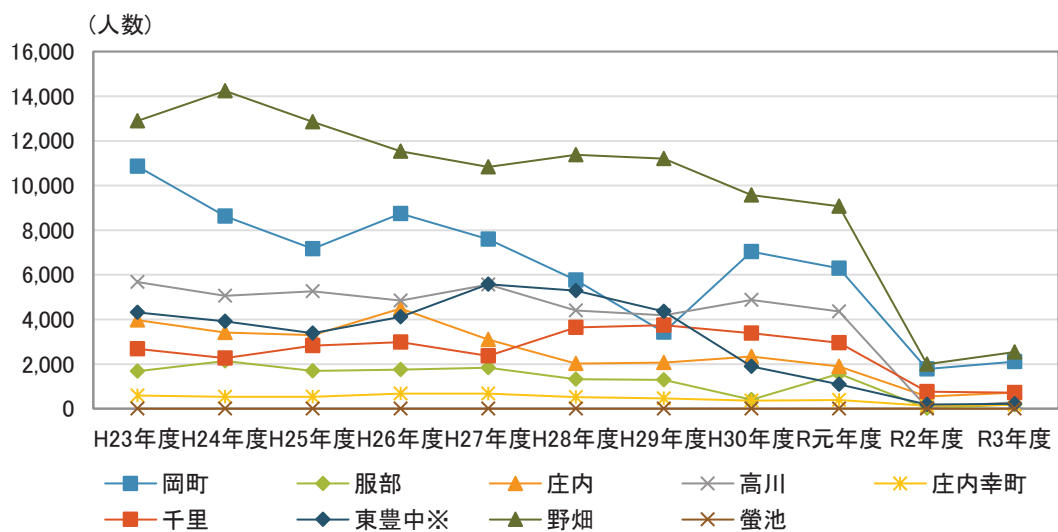


表 11 集会室等の利用人数

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R1/H23
岡町	10,869	8,630	7,170	8,736	7,602	5,763	3,426	7,035	6,295	1,787	2,106	0.58
服部	1,686	2,140	1,692	1,753	1,834	1,326	1,299	410	1,571	14	184	0.93
庄内	3,975	3,415	3,301	4,493	3,092	2,026	2,072	2,343	1,891	552	714	0.48
高川	5,674	5,059	5,266	4,844	5,559	4,402	4,194	4,874	4,362	56	286	0.77
庄内幸町	593	528	529	672	674	522	461	364	386	136	178	0.65
千里	2,677	2,268	2,824	2,978	2,367	3,640	3,737	3,390	2,959	759	714	1.11
東豊中※	4,313	3,921	3,385	4,113	5,580	5,293	4,358	1,896	1,088	184	224	0.44
野畑	12,892	14,244	12,853	11,534	10,827	11,374	11,211	9,575	9,079	1,994	2,534	0.70
螢池	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	42,679	40,205	37,020	39,123	37,535	34,346	30,758	29,887	27,631	5,482	6,940	0.67

(8) コロナ禍の状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、非接触・非来館型サービスの充実に取り組んでいます。

- ・令和3年(2021年)10月にWeb仮登録システムを導入し、本登録前から資料を予約できるようにしました(参考:令和4年(2022年)11月現在の利用総数376件)
- ・令和3年(2021年)12月にスマートフォンを活用した利用者バーコード表示機能を導入し、利用者カードの代わりとして使用できるようにしました
- ・令和4年(2022年)7月に豊中市デジタル図書館を開設し、電子書籍の貸出しサービスをスタートしました(参考:令和4年(2022年)11月現在の貸出状況:4,681件)
- ・セルフ貸出機や返却機、予約資料受取コーナーの増設に取り組みました。休館等もあり予約の件数が増加しています
- ・リクエストの予約受付件数は、Web予約サービスを開始した平成21年度(2009年度)の722,920件から増加し、令和3年度(2021年度)は1,040,626件となっています

図 11 予約受付件数の推移

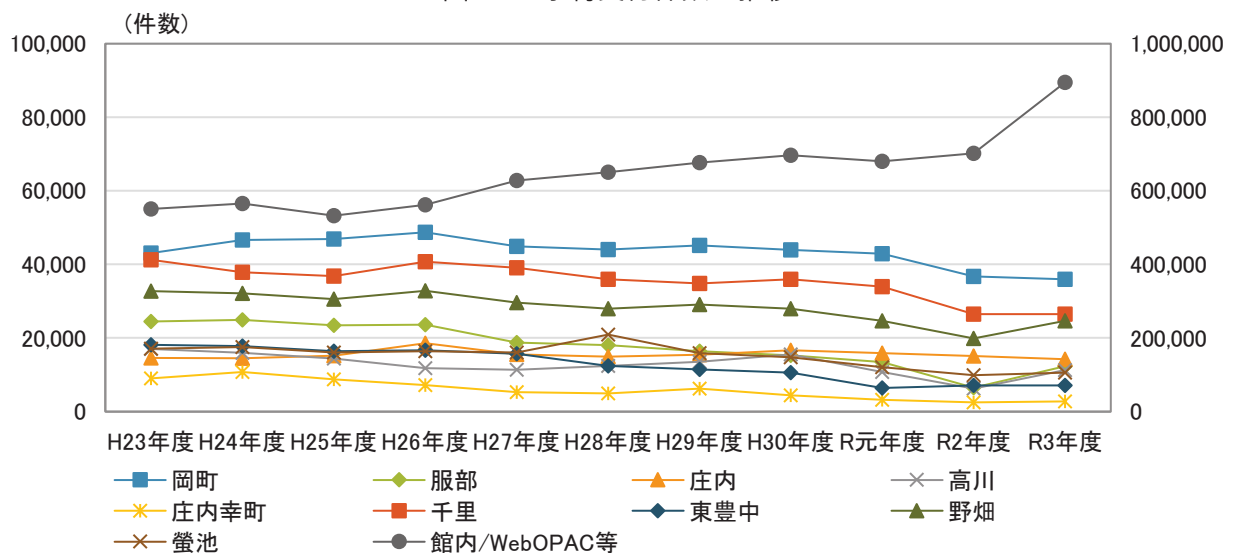


表 12 予約受付件数の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
岡町	43,104	46,621	46,915	48,700	44,928	43,997	45,189	43,956	42,903	36,733	35,967
服部	24,505	24,912	23,440	23,620	18,716	18,021	16,391	15,254	13,430	6,494	12,331
庄内	14,555	14,522	15,161	18,606	15,525	14,870	15,426	16,639	15,842	15,080	14,259
高川	17,026	15,928	14,384	11,759	11,349	12,390	13,505	15,521	10,743	6,246	11,296
庄内幸町	8,987	10,722	8,753	7,167	5,226	4,921	6,185	4,408	3,143	2,472	2,737
千里	41,226	37,844	36,852	40,700	39,049	35,970	34,802	35,942	33,933	26,458	26,443
東豊中	18,132	17,786	16,391	16,659	15,668	12,426	11,424	10,607	6,405	7,117	7,085
野畑	32,705	32,107	30,562	32,827	29,591	27,920	29,091	27,977	24,624	19,826	24,608
螢池	17,120	17,490	16,063	16,405	16,022	20,894	15,850	14,727	12,056	9,873	10,554
館内/WebOPAC等	550,547	565,150	532,841	562,144	627,983	650,732	676,475	696,408	680,526	701,870	895,346
合計	767,907	783,082	741,362	778,587	824,057	842,141	864,338	881,439	843,605	832,169	1,040,626

2 各館施設現況

令和 4 年（2022 年）4 月 1 日現在、本市の図書館は地域館 4 館、分館 5 館、図書室 1 室がありました。令和 5 年（2023 年）2 月に、庄内図書館と庄内幸町図書館が庄内コラボセンター内に統合され、地域館 4 館、分館 4 館、図書室 1 室となりました。

いぶきサービスは予約の貸出・返却といったサービスポイントに近い内容で運営しています。

表 13 豊中市立図書館の状況（令和 4 年（2022 年）12 月現在）

	施設名 蔵書冊数	設置年 【建物建設年】	敷地面積 延床面積	写真	現状や特性
地域館	岡町 図書館 25 万冊	昭和 20 年 (1945 年) 【昭和 44 年 (1969 年)】	1,309.09 m ² 3,272.08 m ²		・ 4 階建ての図書館 ・ 図書館サービスの中心的役割 ・ 市内図書館、学校図書館の物流の拠点 ・ 動く図書館、団体貸出等館外貸出サービス業務を実施 ・ 医療、健康情報コーナーを設置 ・ 施設の老朽化が進行
	庄内 図書館 7 万冊	昭和 50 年 (1975 年) 【同上】	3,687.45 m ² 1,085.63 m ²		・ 令和 5 年（2023 年）2 月に庄内コラボセンターに移設 ・ 多文化共生コーナーを設置
	千里 図書館 15 万冊	昭和 53 年 (1978 年) 【平成 20 年 (2008 年)】	3,089.29 m ² 2,379.24 m ²		・ 千里文化センター4 階のワンフロア ・ 利用者が市で一番多い ・ ビジネス、就労支援コーナーを設置 ・ 複合施設の機能を活かした運営
	野畑 図書館 30 万冊	昭和 63 年 (1988 年) 【同上】	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²		・ 2 階建ての図書館 ・ 全館共通書庫を有し蔵書数が多い ・ 選書、資料受入等の整理業務を実施 ・ 子育て、DV コーナーを設置 ・ 施設の老朽化が進行
分館	東豊中 図書館 6.5 万冊	平成 5 年 (1993 年) 【同上】	3,173.54 m ² 1,068.58 m ²		・ 公立こども園に併設（出入口が別） ・ 3 階、ワンフロア

	服部 図書館 6.5 万冊	平成 11 年 (1999 年) 【平成 10 年 (1998 年)】	2,282.39 m ² 708.29 m ²		・高齢者福祉施設に併設（出入口が別） ・1 階、ワンフロア
	高川 図書館 8 万冊	平成 12 年 (2000 年) 【同上】	1,563.11 m ² 1,547.01 m ²		・スポーツ施設、高齢者福祉施設等との複合施設 ・1 階、ワンフロアで交流や閲覧のスペースが多い
	螢池 図書館 6.5 万冊	平成 15 年 (2003 年) 【同上】	3,762.59 m ² 672.98 m ²		・駅隣接のビル 5 階、ワンフロア ・公民館、教育センター等との複合施設
	庄内 幸町 図書館 1.1 万冊	平成 5 年 (1993 年) 【同上】	181.81 m ² 484.58 m ²		・令和 5 年（2023 年）2 月に庄内コラボセンターに移設
図書室	利倉西 センター 図書室 0.3 万冊	平成 29 年 (2017 年) 【平成 7 年 (1995 年)】	— 19.25 m ²		・共同利用施設 利倉西センターに併設 ・小規模な施設
その他	いぶき サービス	—	—		・青少年交流文化館の 3 階「ほんのひろば」で、予約資料の受取と返却のみ実施

3 各館の立地

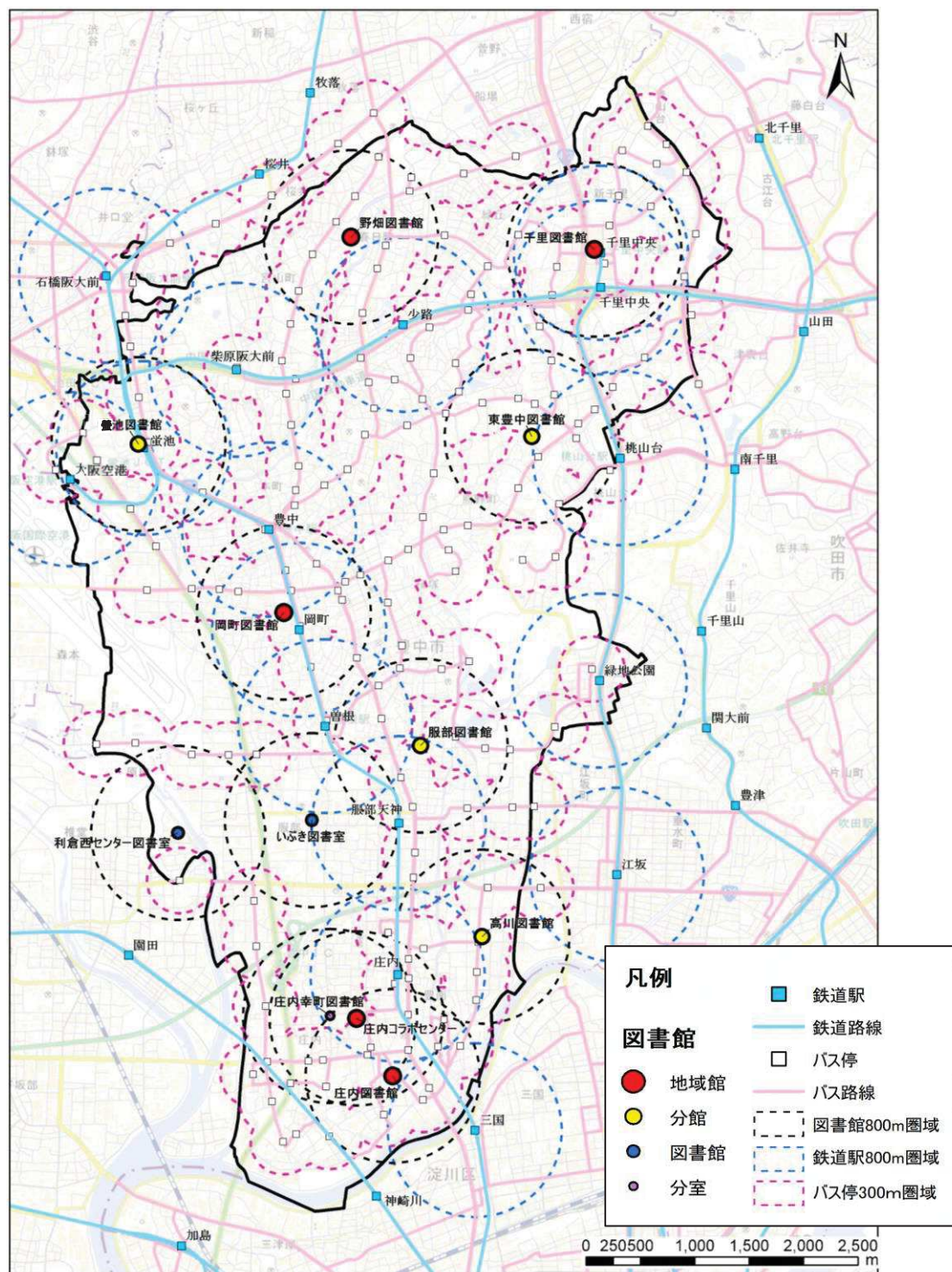
（1）各館の立地状況

本市の図書館は阪急電鉄宝塚線周辺や市の北東部に多く立地しています。多くの図書館は立地適正化計画における都市機能誘導区域内に立地しています。

（2）公共交通ネットワークと図書館

現在、市の大半が鉄道又はバス停の圏域内にあることから、図書館へは徒歩のほか、公共交通を利用しアクセスすることができます。

図 12 図書館からの徒歩圏 800mと公共交通の状況



注) 駅徒歩圏は 800m、バス停徒歩圏は 300m

各図書館へ徒歩と公共交通 1 路線でアクセスできる範囲について分析しました（駅勢圏域は 800m、バス停圏域は 300mで設定）。

・鉄道とバス両方の結節点となっている岡町、千里、螢池の図書館は、アクセスできる範囲が広がっています。東豊中、高川、野畑の図書館はバス、庄内（庄内コラボセンター）、服部の図書館は鉄道のアクセスとなっています（※巻末：参考資料にて整理）

4 図書館運営経費（図書館費の動向）

図書館費合計は平成 30 年度（2018 年度）をピークに増加から減少に転じ、令和 3 年度（2021 年度）で約 9.9 億円です。市民一人あたりの年間の図書館費は微減しています。

図 13 図書館費（決算）

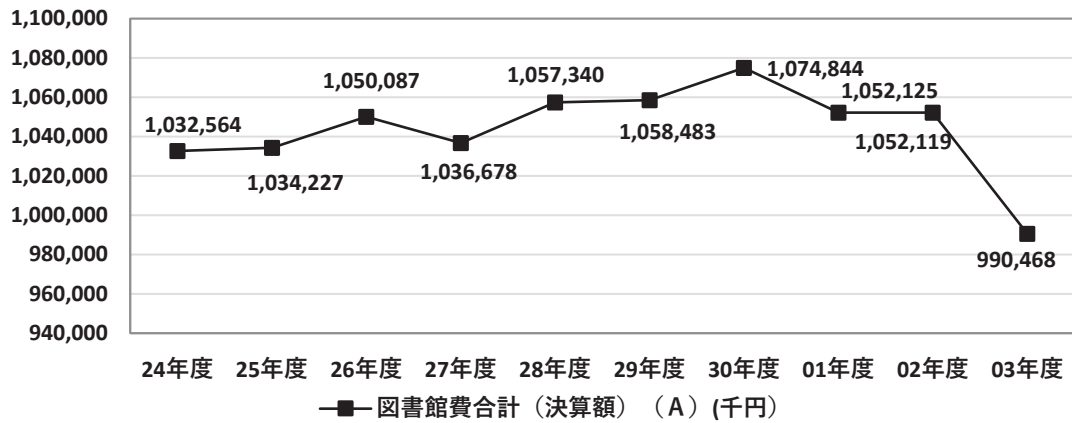
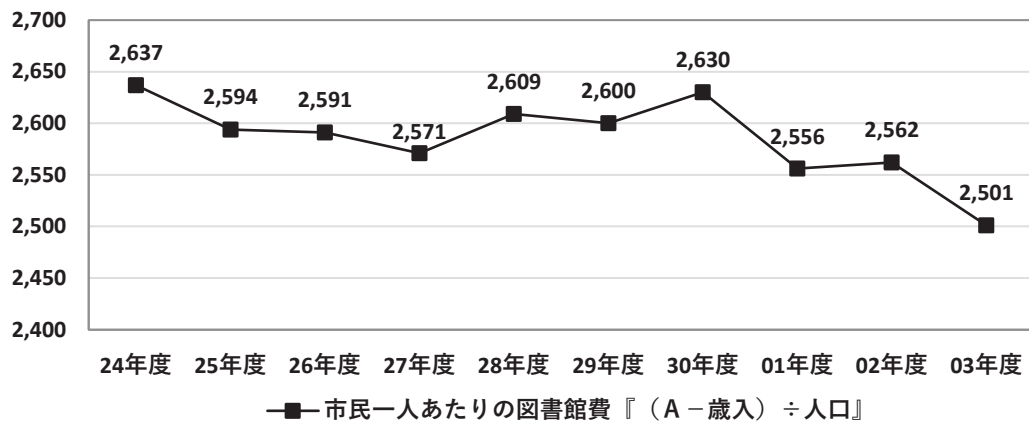


図 14 市民一人あたりの図書館費（決算）



※平成 25 年度からは複合施設の委託料などの立替払いにあたる歳入を除いた図書館費をもとに算出しています。

5 現況と課題の整理

(1) 現況整理

項目	現況整理
1. 各館利用状況	【個人登録者数】 - 個人登録者数が市全体で減少している中、千里図書館のみほぼ全ての年代で増加しています - 多くの館で 15～21 歳、50 代、70 歳以上の利用が増加し、20 代、30 代、60 代が減少しています。高川図書館では 14 歳以下が全体的に減少しています 【貸出人数・冊数】 - 地域館では庄内図書館を除き貸出人数は増加していますが、貸出冊数が増加しているのは千里図書館のみです - 全ての分館で貸出人数や冊数が減少しています。子どもの貸出人数は、分館では東豊中図書館のみ増加しています 【貸出者の年齢層】 - 貸出者の年齢層の割合は 40 代から 70 代が高く、15 歳から 29 歳までが低い状況です。庄内図書館と庄内幸町図書館は高齢者、東豊中図書館と野畑図書館、服部図書館は子どもの割合が他館と比べ高い状況です 【利用者数】 - 全ての館で減少しています 【レファレンスサービス】 - レファレンスサービスが大きく増加しています。分館は東豊中図書館と服部図書館が増加していますが、高川図書館と庄内幸町図書館は減少しています 【集会室等の利用】 - 野畑図書館の利用件数は他館に比べ多く、利用人数も多い状況です。しかし、市全体では利用件数、利用人数ともに減少しています 【コロナ禍の状況】 - Web 仮登録、スマートフォンを活用したバーコード表示機能、電子書籍の貸出し、セルフ貸出機や返却機といった非接触、非来館型サービスの充実に取り組んでいます - 予約件数は増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による休館等により令和元年度（2019 年度）と令和 2 年度（2020 年度）は減少しました。令和 3 年度（2021 年度）は、大きく増加しています
2. 各館施設状況	- 岡町図書館や野畑図書館など老朽化が進む施設があります - 複合施設内の図書館が多くあります
3. 各館の立地	いずれの図書館も鉄道駅又はバス停から徒歩圏内にあります
4. 図書館運営経費	- 年間の図書館費の合計は、令和 3 年度（2021 年度）は約 9.9 億円です - 市民一人あたりの年間図書館費は微減しています

(2) 課題整理

① 図書館各館の機能・配置見直し

- 基本構想の施設配置方針で、(仮称)中央図書館を中心とした新たな図書館サービス網を構築することとしており、地域館については、庄内図書館と千里図書館を位置付けています。なお、庄内図書館と庄内幸町図書館は統合し、令和5年(2023年)2月に庄内コラボセンターに設置しました
- 新しい施設配置においても、魅力ある棚づくりが必要であることから、基本構想の蔵書構築の方針に沿って、蔵書の充実を図り貸出利用を促進することが必要です
- 基本構想策定時の市民アンケートにおいて、市立図書館の重要と考える役割として、子ども読書活動の推進や調べ物、相談の回答が多く見られたことから、子どもの利用やレファレンスサービスを推進する配置が必要です
- 市の人口は維持していますが、図書館全体の個人登録者数、貸出冊数、利用者数は減少しています。特に、15～29歳の利用が低い状況です。館別にみると、千里図書館のように交通利便性が高く開館時間が長いなど、拠点性の高い地域館では利用が伸びているほか、野畑図書館と東豊中図書館では子どもの貸出人数が増加しています。しかし、分館全体では利用が減少しています。このような状況を踏まえ、各館の役割や機能を見直し、市民のニーズに合わせた配置や運用の転換が必要です
- コロナ禍の影響による図書館利用の減少もありましたが、豊中市立図書館では非接触、非来館型サービスの充実に努め、利用者の拡大を進めています。基本構想策定時の市民アンケートにおいて、図書館を利用していない人が約半数おり、その理由として図書館を利用する時間がないことや利用するきっかけがないことの回答が多かったことから、今後、電子書籍を拡充するなど様々な手段で貸出利用を促進し、市民の図書館利用のきっかけづくりを進めることが必要です。また、新たな配置による地域館と分館でも滞在しやすい環境をつくるなど、行きたくなる図書館づくりを進めることが必要です
- 本市は公共交通網が充実しており、現在図書館には徒歩や公共交通を利用し行くことができます。今後の施設配置において、交通利便性の高い場所への施設配置に努めながら、電子書籍、郵送貸出や動く図書館等のアウトリーチサービスなどによりサービスの向上を図り、貸出利用を促進する必要があります

② 中央館機能の設置

- 地域館の中で全体的に利用が拡大しているのは千里図書館のみであり、岡町図書館、野畑図書館、庄内図書館では縮小している状況です。庄内図書館は、庄内コラボセンター内にリニューアルし、閲覧及び自学自習用の席数の拡大や複合施設ならではの連携事業の実施など、今後活性化を図る予定です。また、新たに整備する中央館では、資料を選んで借りて帰るだけでなく、親子で一緒に読書ができるスペースなど滞在しやすい空間づくりや、オープンスペースでのイベント実施など様々な体験が可能となるしかけづくり、市の関係部局、市民団体との連携事業やレファレンスサービスの充実など課題解決ができる場づくりなどを通して、行きたくなる図書館づくりが必要です
- レファレンスサービスの利用は増加しており、調べ物や相談、信頼できる情報に対するニーズは高まっています。分館も含め大半の図書館で増加している中、高川図書館が大きく減少しています。今後も変化する市民のニーズに対応するため、長期的な視点での人材の育成や中央館が地域館と分館を支援する体制や仕組みの整備が必要です

③ 効率的で効果的な図書館運営

- 基本構想では、全ての図書館を同規模で更新及び改修した際にかかる費用として、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間で、約41億円が必要となる見込みを示しています
- 市の公共施設マネジメントの推進と将来の財政状況を考慮し、図書館施設の老朽化対策と費用負担の軽減に取り組むとともに、(仮称)中央図書館を核とした新たな図書館サービス網を構築するにあたり、運営の効率化を図り市民ニーズにあった図書館サービスの充実に取り組むことが必要です

III まちづくりの図書館像



豊中市立図書館がまちを活性化させる拠点となって取組みを進めるため、「図書館像」と「ビジョン」を次のとおり設定します。

■ 図書館像

人と情報、人と人をつなぎ、まちの魅力を高める図書館

■ ビジョン

社会教育の推進に向けた持続可能な施設配置をめざします

「知の拠点」として人と情報をつなぎ学びを支援します

行きたくなる図書館づくりをめざします

将来にわたり持続可能な図書館サービスの提供にあたっては、限られた財源を有効に活用し、効果的・効率的な図書館施設の配置が必要となります。今後は、図書館が持つ「知の拠点」としての機能を様々な形で提供していくとともに、公民館等と一体的に取組みを進めるため、目標を共有するなど社会教育をより一層推進する連携や施設配置に取り組みます。このことで、本市の社会教育がめざす個人の生涯学習から地域社会に参画する人材づくりにつなげていきます。

豊中市立図書館は、「地域の知の拠点」として様々な資料の保存やデータを管理しています。人と情報をつなぐハブとして、多様な情報へのアクセス手段を充実して、学びの支援に取り組みます。

新たな施設配置における図書館では、あらゆる図書館サービスを提供する（仮称）中央図書館やそれぞれの図書館で地域ニーズに応じた特徴あるサービスを展開し、「行きたくなる図書館」づくりに取り組みます。

以上の取組みを進めるため、まちづくりの視点で新たな豊中市立図書館サービス網を構築し、「人と情報」そして「人と人」をつなぐ新たな価値を生み出して、豊中の魅力の1つとなる「すべての人のわたしの図書館」をめざします。

IV 豊中市立図書館サービス網の構築



1 図書館の位置付け（施設階層）ごとの役割

基本構想では豊中市公共施設等総合管理計画に掲げる公共施設等マネジメント基本方針の一つ「戦略的配置、複合化・多機能化の推進」の趣旨に従い、（仮称）中央図書館を核に各施設の位置付けと役割を「施設階層」として明確化しています。みらいプランでは、役割の説明を加え、さらに明確にしました。中央館が核となって地域館・分館と連携し、サービスポイントを活用することで新たな豊中市立図書館のサービス網を構築し、市全体の図書館サービスの向上を図ります。

表 14 位置付けごとの役割

位置付け （施設階層）	役割	役割の説明
中央館	あらゆる図書館サービスの 中心	・課題解決に役立つ専門書など充実した蔵書 ・選書の実施 ・レファレンスなど専門性の高いサービスの中核 ・地域館、分館、サービスポイント、学校図書館への支援拠点 ・市民交流や情報発信の中心 ・多様な目的に応じた快適な閲覧環境 ・多目的なオープンスペース
地域館	庄内・千里地域における 中央館機能の補完	・汎用性の高い蔵書と地域課題に沿った専門書 ・地域特性に沿った資料の提供 ・中央館と連携したレファレンスの実施 ・地域ニーズに対応した多機能連携によるサービス提供 ・多様な目的に応じた快適な閲覧環境
分館	中央館・地域館より身近な 本と親しめる空間	・汎用性の高い蔵書 ・地域特性に沿った資料の提供 ・中央館と連携したレファレンスの実施 ・地域ニーズに対応した多機能連携によるサービス提供 ・身近な閲覧環境
サービス ポイント	予約資料の受取・返却に特化	・交通結節点など利便性の高い場所や他の図書館から離れた場所での予約資料の受取、返却 ・多機能連携によるサービス提供

2 位置付け（施設階層）ごとの機能

- ・中央館、地域館、分館、サービスポイントの位置付けごとの機能や提供サービスは下記のとおり位置付けます。それぞれ、周辺環境と連携しながら図書館サービスの提供を行います
- ・新設する中央館は下記を踏まえながら、今後決定される敷地条件を踏まえ具体内容の検討を行います。地域館は基本構想に位置付けられた庄内図書館と千里図書館とし、分館は現在の地域館と分館より位置付けます

表 15 施設階層ごとの機能

位置付け (施設階層)	役割	想定 規模	機能・提供サービス										備考	
			書庫 選書機能	リファレンス他 専門性を 要する 機能	蔵書	予約 資料 受取 返却	閲覧	地域 連携	学校 連携	情報 発信	自習室	駐輪場		駐車場
中央館	汎用性が高 い施設	5,000 m ² 程度	大規模 書庫 選書	中心 機能	課題解決に 役立つ専門 書等も充実	実施	多様な 閲覧環境	オープンス ペース 集会 スペース	一元 管理	情報の 一元管 理・発 信	設置	設置	設置	・周辺環境との連携
地域館		庄内 1,116 m ² (専有部のみ) 千里 2,379 m ² (共用部含む)	小規模 書庫	地域特性 を踏まえ て設定	地域課題に 沿った専門 書も充実	実施	閲覧 環境	集会 スペース	—	地域情 報収集 ・発信	庄内：設置 千里：複合 施設内	庄内：設置 千里：なし	庄内：設置 千里：なし	・周辺環境との連携
分館	個別の 特性を 活かした 施設	中央館・地域館 より身近な 本と親しめる空間	—	初期対応 ・窓口	汎用性の 高い資料が 中心	実施	閲覧 環境	地域や施 設の特性 に合わせ た使い方 のできる スペース	—	地域情 報収集	—	設置	地域性や施 設状況に応 じ設置	・周辺環境との連携
サービス ポイント		各 50 m ² 程度	—	—	—	実施	—	—	—	—	—	なし	なし	・交通利便でアクセス 性が高い ・利便性施設との連携

※分館については、個別の特性を活かした施設づくりを行う観点から役割や機能等を特化する場合があります。

3 施設配置の考え方

- ◎基本構想の施設配置方針では、中央館の候補として市内全域から比較的アクセスがしやすく庄内図書館や千里図書館の両地域館との配置バランスを考慮し、市内の主要動線である阪急電鉄宝塚線のうち、市の中心部に近い豊中駅、岡町駅、曽根駅の周辺エリアに位置付けています
- ◎各施設に共通する予約資料の受取や返却機能については、今後さらに充実するよう施設配置を検討します
- ◎分館、サービスポイントについては、既存施設を優先して活用します。ただし、サービスポイントについては、上記記載のとおり、市全体で予約資料の受取や返却機能が充足するよう新たな施設配置も検討します
- ◎今後の施設配置においては、交通利便性の高い場所への配置を中心に、動く図書館のステーションも合わせて、図書館サービスの充実に努めます
- ◎中央館、分館、サービスポイントについて、検討手順と評価項目を設定し、配置について検討します

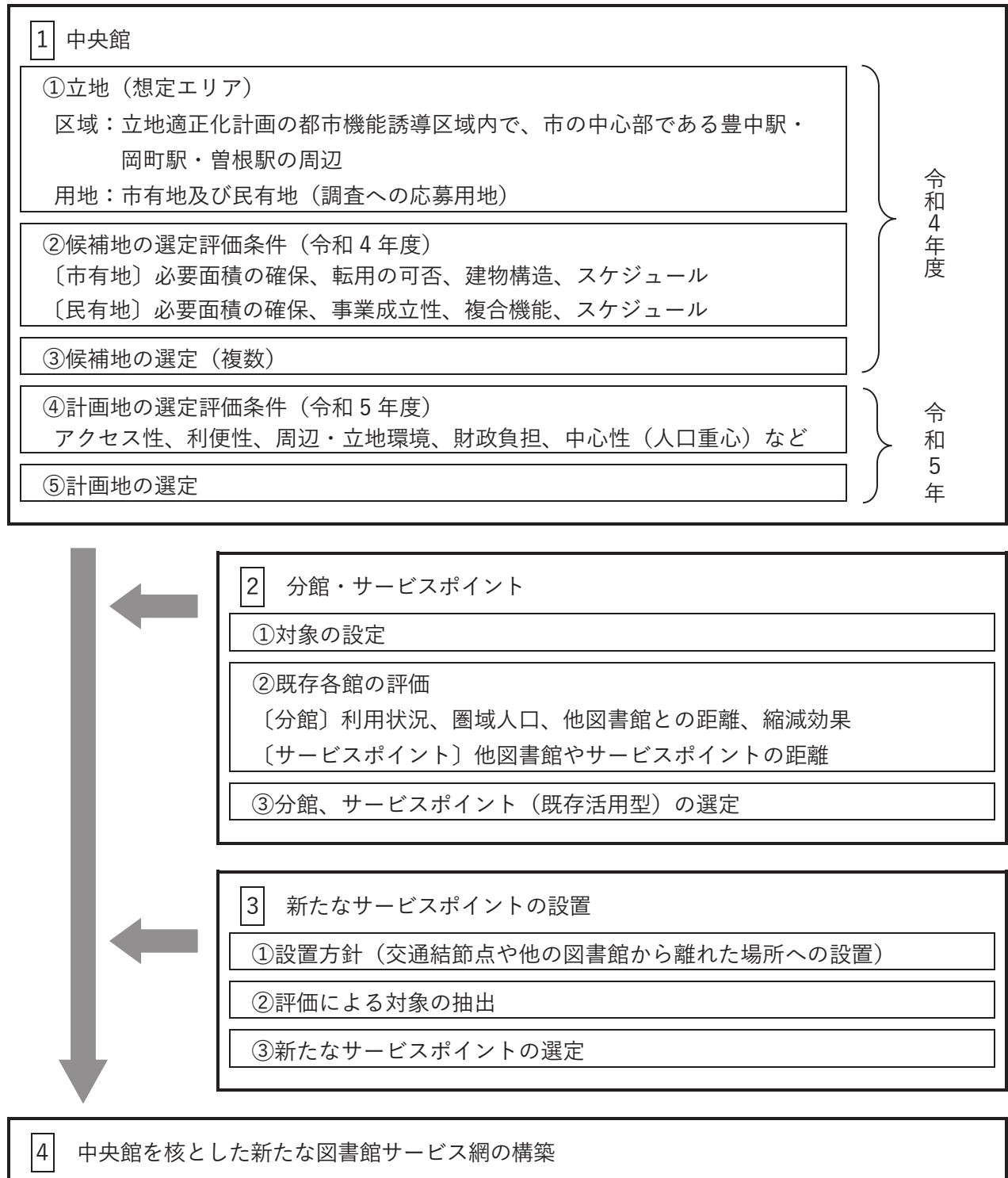
表 16 施設配置の方向性

位置付け (施設階層)	施設数・配置	配置の概要
中央館	1 施設を市の中心エリアに整備	阪急電鉄宝塚線の豊中駅、岡町駅、曽根駅周辺に配置
地域館	2 施設（庄内・千里）	駅周辺・複合施設に配置
分館	中央館・地域館を補完 (数施設に集約)	中央館、地域館を踏まえ配置
サービス ポイント	①鉄道駅等利便性の高い場所 ②他の図書館から離れた場所に設置	交通利便性と新たな中央館、地域館、分館を踏まえ配置

4 中央館の候補地及び施設配置検討

(1) 検討手順

中央館の候補地は、候補地そのものの評価のほか、その他の図書館等の位置付けや新たなサービスポイントの設置とあわせ、市全体で図書館サービス網が構築される施設配置を検討します。



中央館は下記の「候補地の選定評価条件（令和４年度）」「候補地の選定評価条件（令和５年度）」をもとに評価を行います。

1：中央館

候補地の選定評価条件（令和４年度）

〔市有地〕

項目	内容
必要面積の確保	建築基準法の集団規定（容積、建ぺい、道路斜線、隣地斜線制限等）を踏まえ必要面積（延べ 5,000 ㎡）の確保が可能か
転用の可否	現状の利用から図書館への転用が可能か
建物構造	既存建物の場合、構造上改修は可能か
スケジュール	図書館整備のスケジュールと合致するか

〔民有地〕

項目	内容
必要面積の確保	市有地と同様
事業成立性	民間事業が収支上も権利者の合意上も可能か
複合機能	複合機能の有無
スケジュール	図書館整備のスケジュールと合致するか

計画地の選定評価条件（令和５年度）

項目	内容
アクセス性	〔利用者〕 鉄道駅からの距離、バス停からの距離 〔配送〕 前面道路の幅員、車線数、周辺道路の混雑状況
利便性	〔施設〕 商業施設等民間施設との近接性 〔圏域人口〕 圏域人口
周辺・立地環境	〔良好な環境〕 公園への近接、騒音や振動の無い環境 〔災害〕 災害ハザード内外
財政負担	用地や床の購入、借地等費用
中心性	人口重心に近いか (人口重心とは、人口の 1 人 1 人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が全体として平衡を保つことのできる点（国勢調査では、町丁・字をもとに日本の人口重心を作成）)

既に地域館として決定されている、庄内図書館と千里図書館以外の現状の図書館について評価を行います。また、中央館の候補地との距離も含め評価し、分館候補として抽出します。

2：分館

項目	内容
利用状況	利用の状況
圏域人口	圏域人口の割合
他図書館	近接していれば集約対象
縮減効果	賃貸や維持管理経費が高い等

☆サービスポイントは上記の手順で分館とならなかった図書館及び交通結節点より候補を抽出します。

3-1：サービスポイント（既存活用型）

項目	内容
他図書館との距離	他図書館の徒歩圏外であるか
他サービスポイントとの距離	他サービスポイントの徒歩圏外であるか

3-2：サービスポイント（交通結節点型）

項目	内容
交通結節状況	鉄道と鉄道、鉄道とバスの交通結節点となっているか
駅の乗降客数	駅の乗降客数が市内でも多く利用が見込めるか
他図書館との距離	他図書館の徒歩圏外であるか
他サービスポイントとの距離	サービスポイントの徒歩圏外であるか

(2) 中央館候補地

① 候補地

基本構想で位置付けられている阪急電鉄宝塚線の豊中駅、岡町駅、曽根駅から徒歩圏や都市機能誘導区域内にあり、下記の条件に該当する市有地を抽出しました。

条件①：候補地の想定規模 5,000 m²

条件②：開設時期 令和 10 年、11 年ごろ

表 17 阪急電鉄宝塚線の豊中・岡町・曽根駅から徒歩圏内（800m 以内）の候補地（市有地）一覧

物件名	住所	敷地面積(m ²)	主要棟 建築年 (年)	最寄駅	用途地域	容積率 (%)	建ぺい 率(%)	築年数 (年)
エトレとよなか	玉井町 1-1-1	4,407	2000	豊中駅	商業地域	600	80	22
とよなか ハートパレット	岡上の町 2-1-8	6,775	2009	豊中駅	近隣商業地域	200 300	80	13
消防局・北消防署 合同庁舎	岡上の町 1-8-24	1,572	1982	豊中駅	近隣商業地域	200 300	80	40
生活情報センター くらしかん	北桜塚 2-2-1	1,611	1997	豊中駅	第一種中高層住宅 専用地域	200	60	25
大門公園	北桜塚 1	20,528	—	岡町駅	第一種住宅地域 第二種住宅地域 近隣商業地域	200 200 300	60 60 80	—
市役所本庁舎	中桜塚 3-1-1	10,702	1962	岡町駅	近隣商業地域	300	80	60
岡町図書館	岡町北 3-4-2	1,309	1969	岡町駅	第一種中高層住宅 専用地域	200	60	53
人権平和センター	岡町北 3-13-7	2,403	1972	岡町駅	第一種住宅地域 第一種中高層住宅 専用地域	300 200	60 60	50
轟木公園	岡町北 3	9,288	—	岡町駅	第一種中高層住宅 専用地域 第二種中高層住宅 専用地域	200 200	60 60	—
原田介護 予防センター	原田元町 3-13-1	3,443	1993	曽根駅	準住居地域 第一種中高層住宅 専用地域	300 200	60 60	29
文化芸術センター 中央公民館	曽根東町 3-7-2 曽根東町 3-7-3	16,660 2,444	2016 1984	曽根駅	第一種中高層住宅 専用地域 第二種中高層住宅 専用地域 近隣商業地域	200 200 300	60 60 80	6 38
豊島公園	曽根南町 1	59,942	—	曽根駅	第一種住宅地域	200	60	26
てしまこども園	曽根南町 2-19-2	3,312	1989	曽根駅	第一種住宅地域	200	60	33

市有地と同じ候補地としての条件を満たす民有地について、令和4年（2022年）8～9月に一般から公募を行い、下記2件の用地の応募がありました。

表 18 候補地（民有地）一覧

物件	敷地面積	最寄駅	用途地域	容積率	建ぺい率	備考
A	約 3,000 m ²	岡町駅	近隣商業地域	300%	80%	民間複合施設 内への合築
B	約 8,000 m ²	曽根駅	近隣商業地域	300%	80%	民間複合施設 内への合築

② 判定結果

市有地については、「候補地の選定評価条件（令和４年度）」である「必要面積の確保」「転用の可否」「建物構造」「スケジュール」の全ての項目を満たす候補地について抽出しました。

結果：「豊島公園」を抽出しました。

表 19 候補地（市有地）の判定一覧

物件名	必要面積の確保	転用の可否	建物構造	スケジュール	結果
エトレとよなか	×	－	－	－	活用不可 ×
とよなか ハートバレット	○	○	△ (事業期間終了 後不明)	×	活用不可 ×
消防局・北消防署 合同庁舎	×	－	－	－	活用不可 ×
生活情報センター くらしかん	×	－	－	－	活用不可 ×
大門公園	○	×	－	－	活用不可 ×
市役所本庁舎	○	×	－	－	活用不可 ×
岡町図書館	×	○	○ (建替)	○	他用地ない場合 △
人権平和センター 豊中	×	－	－	－	活用不可 ×
轟木公園	○	×	－	－	活用不可 ×
原田介護 予防センター	○	×	－	－	活用不可 ×
文化芸術センター	○	×	－	－	活用不可 ×
中央公民館	○	×	－	－	活用不可 ×
豊島公園	○	△ 公園機能変更 の協議必要	○ (新築)	○	活用可能 ○
てしまこども園	○	×	－	－	活用不可 ×

民有地については、応募があった民有地について「候補地の選定評価条件（令和４年度）」である「必要面積の確保」「事業成立性」「複合機能」「スケジュール」の全ての項目を満たす候補地を抽出しました。

結果：候補地 A と候補地 B を抽出しました。

表 20 候補地（民有地）の判定一覧

物件名	必要面積の確保	事業成立性	複合機能	スケジュール	結果
A	○	○	○ 商業・福祉	○	活用可 ○
B	○	○	○ 商業・サービス	○	活用可 ○

※ 3つの候補地を抽出しましたが、進捗過程で実現可能性が難しいと判断した場合は、面積要件を満たしていませんが「岡町図書館」を候補の1つとします。

③ 抽出された候補地の特性

抽出された候補地は豊中市都市計画マスタープランの「都市空間の将来像」において、民有地 A と B は「都市拠点」内に立地しています。岡町駅周辺では公共サービスの中心、曾根駅周辺では文化、スポーツの中心となっています。市有地（豊島公園）は「都市機能誘導ゾーン」に立地しています。また、「都市軸」内に立地し、さまざまな都市機能の集積で市全体に活力を与える位置付けがあります。

図 15 都市空間の将来像における位置付け



表 21 都市拠点及び都市軸の位置付け

位置付け	内容
都市拠点	都市拠点として、豊中駅、岡町駅、曾根駅、庄内駅の各駅周辺を位置付け、豊中駅及び庄内駅周辺は商業・業務の中心として、岡町駅周辺は公共サービスの中心として、曾根駅周辺は文化・スポーツの中心として、それぞれの特性に応じた都市機能の集積を促進し、都市全体に活力を与える魅力ある都市空間の形成を図ります
都市機能誘導ゾーン	鉄道駅を中心とした徒歩圏を都市機能誘導ゾーンとして位置付け、市民生活や都市活動に必要な都市機能が立地する市街地の形成を図ります
都市軸	本市の発展を支えてきた国道 176 号及び阪急宝塚線に沿った区域を豊中中心軸と位置付け、さまざまな都市機能の集積により、市全体に活力を与える軸の形成を図ります

(3) 分館及びサービスポイント（既存活用型）の配置

① 分館及びサービスポイント（既存活用型）の候補

位置付けが決まっていない下記の図書館を、分館及びサービスポイント（既存活用型）として抽出しました。

表 22 分館候補

館名	設置年	建物の建設年	建物築年数 2023年時点	延床面積	蔵書冊数 (概数)	複合状況
野畑 図書館	1988	1988	34	3,846.46	30万冊	
東豊中 図書館	1993	1993	29	1,068.58	6.5万冊	ゆたかこども園
服部 図書館	1999	1998	24	708.29	6.5万冊	服部介護予防 センター
高川 図書館	2000	2000	22	1,547.01	8万冊	高川スポーツ ルーム等
螢池 図書館	2003	2003	19	672.98	6.5万冊	螢池公民館

分館について、利用状況、圏域人口、他図書館、縮減効果を基に抽出するとともに、サービスポイント（既存活用型）について、他図書館やサービスポイントとの距離を踏まえ抽出します。

表 23 分館候補の状況

項目		内容	野畑	東豊中	服部	高川	螢池	備考
利用 状況	利用率 上昇 ・ 低下 ・ 平均 比較	個人登録者数 (R1 実数)	21,438 人	13,156 人	13,391 人	6,192 人	10,440 人	平均 12,923 人
		個人登録者数 (R1/H23)	0.85	0.97	0.93	0.85	0.99	平均 0.91
		貸出人数・一般 (R1 実数)	114,565 人	67,096 人	75,480 人	38,445 人	59,674 人	平均 71,052 人
		貸出人数・一般 (R1/H23)	1.02	0.99	0.89	0.72	0.84	平均 0.89
		貸出人数・子ども (R1 実数)	31,620 人	21,163 人	17,437 人	5,425 人	8,684 人	平均 16,866 人
		貸出人数・子ども (R1/H23)	1.01	1.15	0.85	0.61	0.83	平均 0.89
		貸出冊数 (R1 実数)	532,604 冊	309,156 冊	334,411 冊	158,777 冊	201,929 冊	平均 307,375 冊
		貸出冊数 (R1/H23)	0.93	0.91	0.86	0.67	0.76	平均 0.83
		レファレンス (R1 実数)	11,851 件	6,703 件	4,503 件	2,766 件	3,159 件	平均 5,796 件
		年間利用者数 (R1 実数)	260,255 人	108,453 人	135,723 人	110,642 人	124,954 人	平均 148,005 人
		年間利用者数 (R1/H26)	0.95	0.98	0.88	0.91	0.83	平均 0.91
		レファレンス (R1/H23)	0.97	2.11	1.81	0.52	1.02	平均 1.29
		集会場 (R1 実数)	9,079 人	1,896 人	1,571 人	4,362 人	—	平均 4,227 人
		集会場 (R1/H23)	0.70	0.25	0.93	0.77	—	平均 0.66
圏域 人口	圏域 人口が 多い	徒歩圏	26,044 人	25,667 人	30,065 人	16,125 人	19,672 人	令和2年国勢人口よ り算出 平均約23,500人
		公共交通 ・徒歩圏合計	57,205 人	81,400 人	153,087 人	34,484 人	212,207 人	平均 107,677 人
他図 書館	近接していれば集約対象		○ 他図書館が徒 歩圏内に無い	○ 他図書館が徒 歩圏内に無い	△ 中央館が菅根 駅周辺にあれば近接	○ 他図書館が徒 歩圏内に無い	○ 他図書館が徒 歩圏内に無い	
縮減 効果	賃貸や維持管理経費が 高い等		○ 市有地	○ 市有地	△ 借地	○ 市有地	× 賃貸入居	

② 判定結果

5 館（表 22 分館候補）の図書館について評価し、判定を行いました。

- 野畑図書館は、貸出人数や貸出冊数、レファレンス件数など利用が多く、子どもの利用も多い図書館です。千里中央駅や豊中駅、蛍池駅など交通結節点となる駅から離れた立地であり、サービスポイント化による効果も期待できません。市有地であり縮減効果も見込めないことから、駐車場を備えた分館として、市内北西部エリアをカバーする図書館として位置付けます。また、集会室の利用率や自習コーナーの利用の高さを踏まえ、集会室機能及び自学自習のスペースの提供についても配慮します
- 東豊中図書館は、貸出人数は平均より低いものの、子どもの利用が多い図書館です。貸出冊数、レファレンス件数とも多くなっています。千里中央駅や桃山台駅など交通結節点となる駅から離れた立地であり、サービスポイント化による効果も期待できません。市有地であり縮減効果も見込めないことから、分館として位置付けます。ただし、集会室の利用率は低下しているため、親子で一緒に読書ができるスペースを設けるなど利用形態の見直しを行う必要があります
- 服部図書館は、貸出人数や貸出冊数の利用が多い図書館です。圏域人口も多い状況ですが、中央館が曽根駅周辺の場合、中央館がカバーするエリアと重なり、機能が重複するため廃止とします。中央館が岡町駅周辺の場合、中央館機能が近接していることや全市的な配置バランスを考慮するとともに、借地であり縮減効果が見込まれることからサービスポイントとし、予約資料の受取りなどの利便性を維持します
- 高川図書館は、貸出人数や貸出冊数、レファレンスの全てにおいて利用が少なく、子どもの利用も少ない図書館です。圏域人口は少ないが、他図書館から離れていることからサービスポイント機能を中心に、地域の課題解決を図る機能を有する分館として位置付けます。
- 蛍池図書館は、貸出人数や貸出冊数の利用が少なく、子どもの利用も少ない図書館です。鉄道と鉄道の交通結節点であるため圏域人口は多いが、賃貸での設置のため縮減効果が高い施設となります。そのため、交通の結節点である特長を生かし、サービスポイント機能を中心に、地域の課題解決を図る機能を有する分館として位置付けます。

以上の判定により、

◎野畑図書館、東豊中図書館は分館とします

◎高川図書館、蛍池図書館は、サービスポイント機能を中心に、地域の課題解決を図る機能を有する分館とします

◎服部図書館については、中央館の候補地の状況を踏まえ、廃止もしくはサービスポイント（既存活用型）とします

また、青少年交流文化館のいぶきサービスは、若者利用の促進を考慮し、現サービスを継続します（現在、予約資料の受取と返却を行っていることからサービスポイントに位置付けます）

利倉西センター図書室は、地域バランスを考慮し、現サービスを継続します

(4) サービスポイント（交通結節点型）の配置

サービスポイント（交通結節点型）について、鉄道とバスとの結節状況、駅の乗降客数、他図書館とサービスポイントとの距離を踏まえ候補を抽出します。

- ・他図書館との距離から、豊中駅、緑地公園駅、柴原阪大前駅、少路駅の4駅を抽出しました
- ・鉄道とバスとの結節状況と駅の乗降客数が与えるサービスポイントへの利用影響を考慮し、豊中駅と緑地公園駅のエリアにサービスポイント（交通結節点型）の設置を検討します
- ・岡町駅、曽根駅については、中央館の設置場所や市域バランス等を踏まえ今後対応を検討します

表 24 駅乗降客数（R1）と他図書館との位置関係

路線名	駅	乗車人員	降車人員	計	図書館との位置関係
阪急電鉄	庄内	14,148	14,095	28,243	庄内コラボセンター徒歩圏
	服部天神	12,129	11,791	23,920	いぶきサービス徒歩圏
	曽根	12,106	12,025	24,131	※中央館候補地あり
	岡町	8,517	8,378	16,895	※中央館候補地あり
	豊中	23,606	23,877	47,483	新たなサービスポイントとして選定
	蛍池	20,826	20,864	41,690	サービスポイント設置
北大阪急行電鉄	緑地公園	18,008	17,544	35,552	新たなサービスポイントとして選定
	千里中央	46,413	44,744	91,157	千里図書館徒歩圏
大阪モノレール	大阪空港	8,457	8,676	17,133	蛍池サービスポイント徒歩圏
	蛍池	14,739	14,480	29,219	サービスポイント設置
	柴原阪大前	4,972	5,115	10,087	—
	少路	6,671	6,435	13,106	—
	千里中央	20,682	21,279	41,961	千里図書館徒歩圏

(5) 新たな施設配置

これまでの判定結果を踏まえ、下記のとおり中央館候補地と各施設配置を整理しました。

表 25 候補地ごとの施設配置

中央館	案① 豊島公園	案② 民有地 A（岡町駅周辺）	案③ 民有地 B（曽根駅周辺）
地域館	庄内図書館 千里図書館	庄内図書館 千里図書館	庄内図書館 千里図書館
分館	野畑図書館 東豊中図書館 高川図書館 螢池図書館	野畑図書館 東豊中図書館 高川図書館 螢池図書館	野畑図書館 東豊中図書館 高川図書館 螢池図書館
サービス ポイント	【既設館の活用】 いぶきサービスポイント 【新設】 豊中駅周辺エリア 緑地公園駅周辺エリア	【既設館の活用】 いぶきサービスポイント 服部サービスポイント 【新設】 豊中駅周辺エリア 緑地公園駅周辺エリア	【既設館の活用】 いぶきサービスポイント 【新設】 豊中駅周辺エリア 緑地公園駅周辺エリア

※利倉西センター図書室は、現サービスを継続します。

中央館（案①）豊島公園

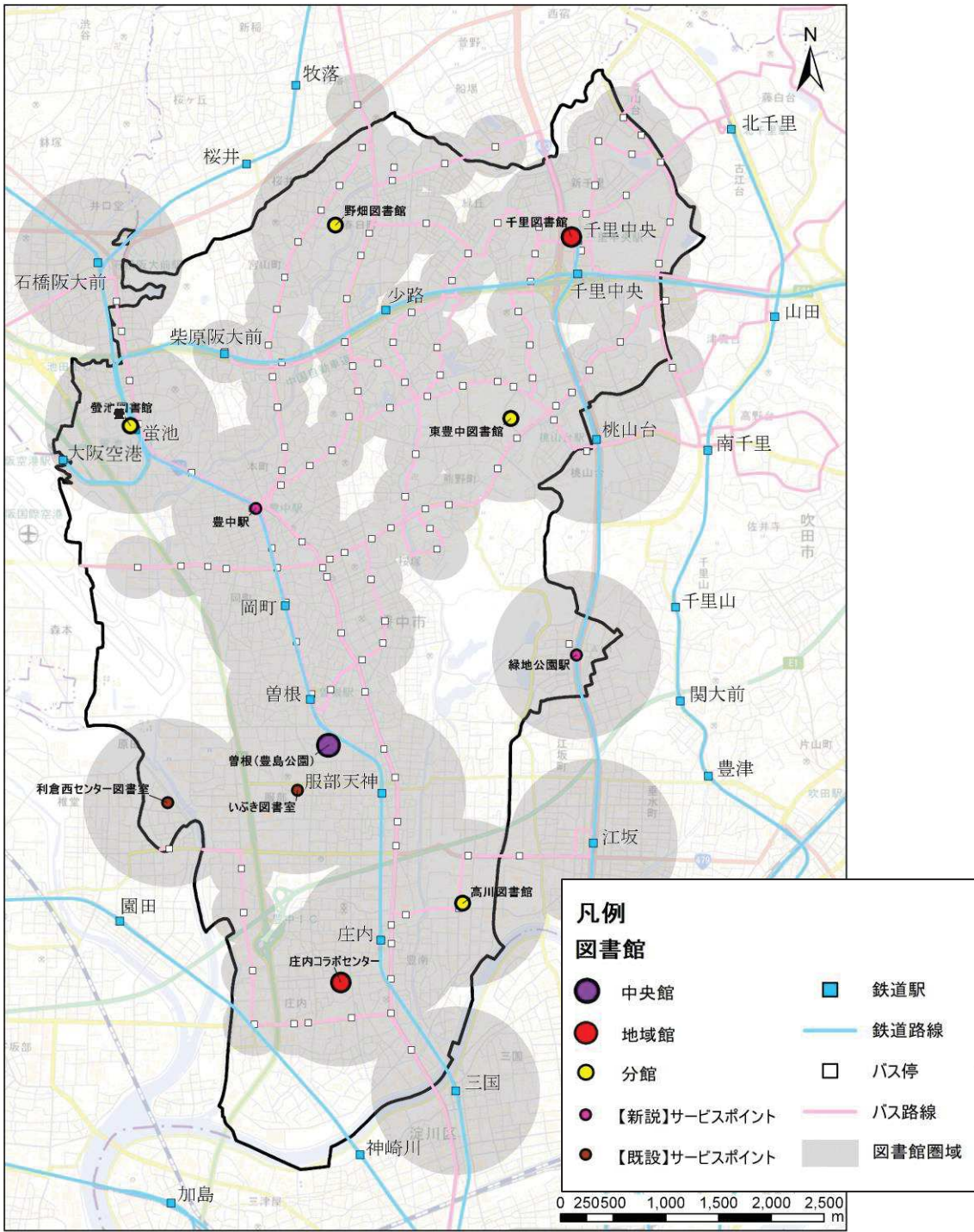


図 16 中央館（案①）豊島公園

中央館（案②）民有地 A（岡町駅周辺）

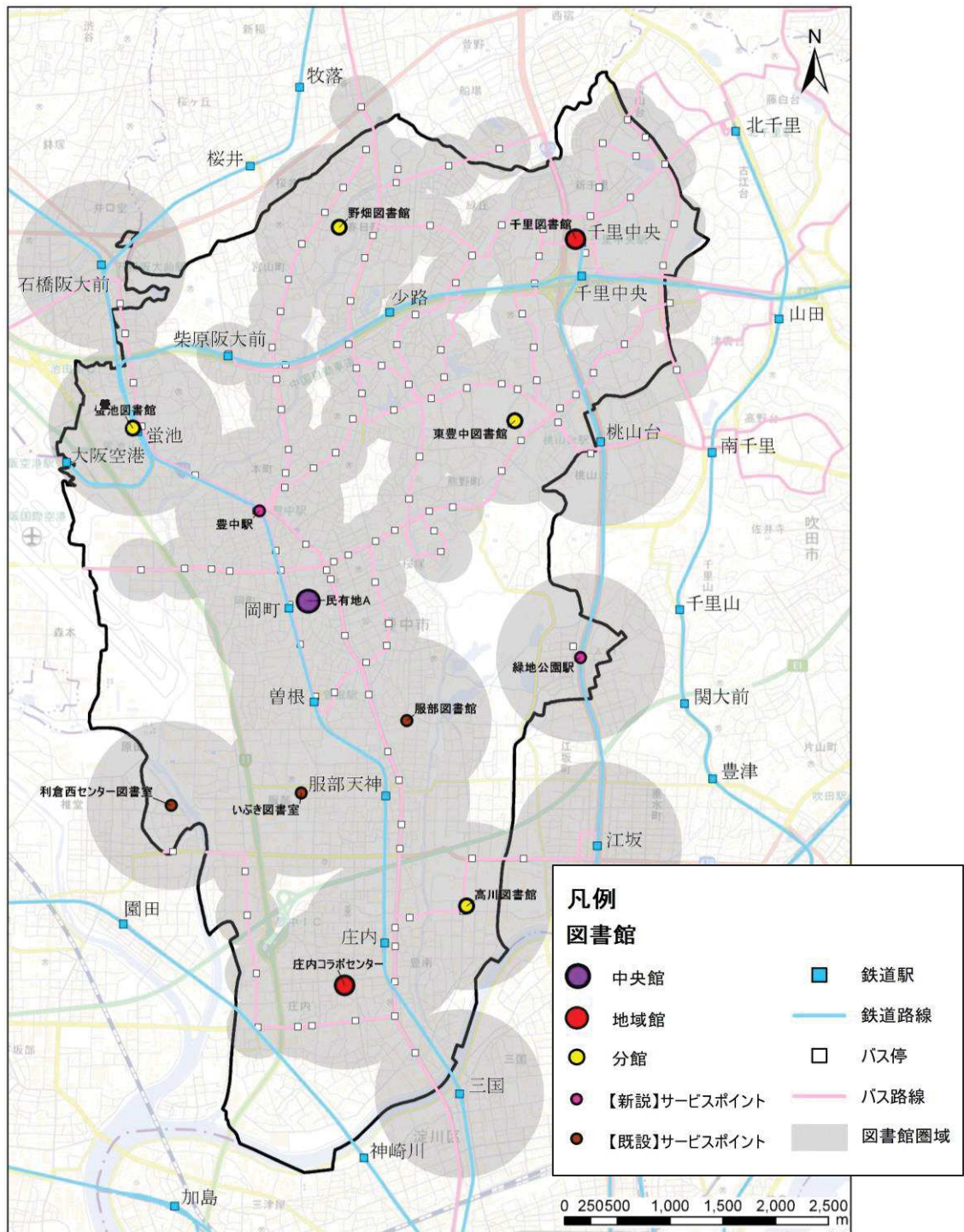


図 17 中央館（案②）民有地 A

中央館（案③）民有地 B（曽根駅周辺）

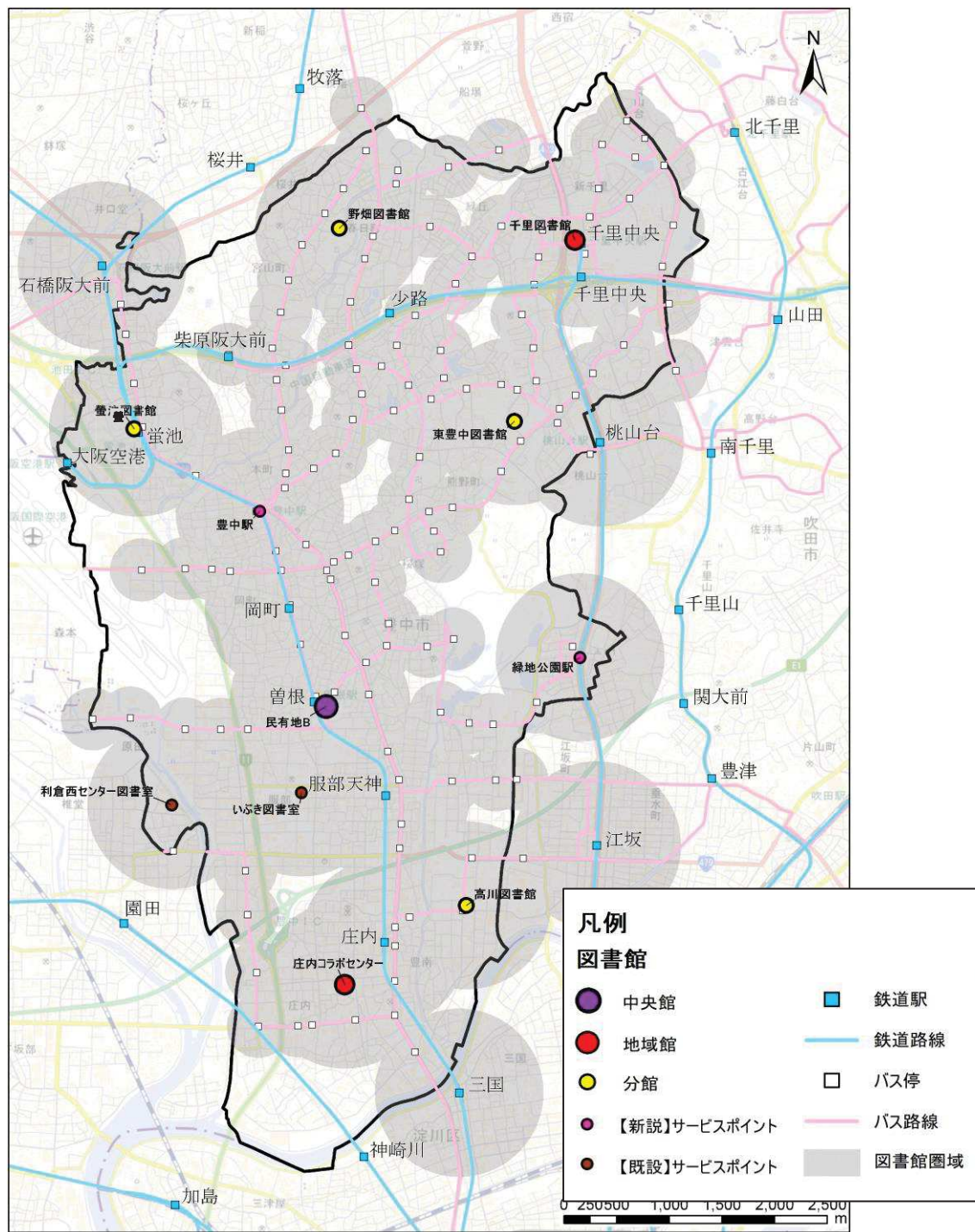


図 18 中央館（案③）民有地 B

(6) スケジュール

(仮称) 中央図書館の整備とともに、次の予定で施設配置を行います。

表 26 施設配置スケジュール (予定)

	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	～	令和 10～11 年度 (2028～2029 年度)	令和 11 年度～ (2029 年度～)
(仮称) 中央図書館	計画地選定	設計・工事等		設置 (目安)	→
岡町図書館	→			廃止	
野畑図書館 (分館)	自学自習室拡充	→			分館 →
東豊中図書館 (分館)	複合施設の状況や地域性を考慮し調整				
高川図書館 (分館)	新たな機能設置	→			
螢池図書館 (分館)	新たな機能設置	→			
豊中サービスポイント	開設	→			
緑地公園駅周辺エリアの サービスポイント化	検討・調整				
服部図書館	→			サービスポイント 又は 廃止	

5 新たなサービス展開

新たなサービスについては、子どもや子育て世帯、若者を主な利用者層として位置付け、行きたくなる図書館づくりに取り組むとともに、誰もが情報にアクセスしやすい環境を整えます。そのため、豊中市立図書館の資源や利点を最大限に活用し公民館等と一体的に社会教育を推進するとともに、司書の専門性を活かし暮らしの課題に働きかけるなど、まちづくりの視点で新たな図書館サービスを展開し、人と情報、人と人をつなげていきます。

①滞在しやすい環境の整備

みらいプランでは、図書館の位置付け（施設階層）ごとの役割や機能を示し、閲覧環境やスペースの方向性を明確にしました。中央館・地域館・分館がそれぞれの役割や機能を発揮しニーズに応じた滞在しやすい環境を整えます。特に分館においては、地域特性に応じた特徴ある図書館づくりを進めます。

②高川・螢池図書館の新たな機能展開

高川や螢池の図書館は、図書機能や児童館的な機能、多世代交流・地域連携機能などを有した空間づくり、機能が融合された場づくりを行い、司書が中心となって、人と人、人と地域をつなげる取り組みを進めます。具体的には、予約資料の貸出しや資料の返却とともに、子どもたちが自由に遊べる場や子育て世帯が安心して快適に滞在できる場、若者が学びを深める自学自習室、地域の課題解決を図る連携の場など、様々なゾーニングにより滞在できる場づくりに取り組みます。

③暮らしの課題解決等に係る取り組み推進

豊中市立図書館では、これまで子ども読書活動や障害者サービス、おやこでにほんご、しょうない REK の活動、北摂アーカイブス事業など市民との協働で暮らしや地域の課題解決、まちの活性化に取り組んできました。また、市民生活で関心の高い課題として、「医療・健康情報」を岡町図書館、「多文化共生」を庄内図書館、「ビジネス・就労」を千里図書館、「子育て・DV」を野畑図書館でコーナーを設けて、関係部局・機関と連携して各テーマの講座を実施してきました。引き続き、市民との協働を推進するとともに、様々な体験や課題解決が可能となる取り組みを関係部局や機関と連携し進めます。また、司書の専門性と図書館の資源を活用し、暮らしの課題解決に向けて地域に働きかける体制を整備し取り組みを進めます。

④学校図書館の充実

学校図書館は、「読書センター」や「学習・情報センター」、「教員のサポート」の機能を有するとともに、子どもたちの居場所としての役割を担っています。本市では、全小中学校に配置された学校司書が中心となって、児童・生徒の読書活動や学習活動、情報の扱い方などについて支援を行うとともに、教員の授業支援、児童・生徒の昼休みや放課後の居場所づくりに取り組んでいます。学校図書館の蔵書は約 80 万冊あり学校間で貸し借りができるとともに、市立図書館の蔵書約 100 万冊も利用することができます。今後も、市立図書館と学校図書館が連携し、子どもたちと多様な資料・情報をつなぐ取り組みを進めるとともに、紙の資料やインターネット情報など様々な情報を適切に活用する情報リテラシー教育の支援を進めます。

⑤電子書籍の拡充

令和2年（2020年）の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、図書館を利用できない時期や利用しにくい時期が続きました。また、これまで図書館への来館が困難だった人や、図書館の開館時間に利用できなかった人へのサービスを考えたとき、図書館に来館することなく24時間、サービスを利用できる電子書籍は重要となります。このことから、令和4年（2022年）7月に「豊中市デジタル図書館」を開設し、電子書籍貸出サービスを開始しました。今後は、誰もが本を借りやすい環境と読書バリアフリーの充実のため、電子書籍の拡充に取り組みます。

⑥蔵書（電子書籍含む）の充実

基本構想の「蔵書構築の方針」に基づき、新たな施設配置においても、電子書籍を含む約100万冊の蔵書をめざします。また、総出版数に対する図書館における購入タイトル数の50%以上を維持し、貸出利用を促進します。さらに、大学図書館との連携を進め、市民への多様な情報提供サービスの充実に取り組みます。

⑦アウトリーチサービスの充実

基本構想ではアウトリーチサービスを「通常の方法ではサービスが届かない人たちにサービスを行き渡させるため、より積極的、能動的に図書館が工夫をこらす活動のこと（出典：最新図書館用語大辞典）」としています。これまで動く図書館の巡回サービス、高齢や障害により来館が困難な人への宅配サービスを実施してきましたが、さらに、図書館利用が困難な市民へのアウトリーチサービスとして郵送貸出などに取り組み学びの支援を進めます。

⑧動く図書館のステーション配置の見直し

新たな施設配置での利用状況を検証し、市内のどの地域でも利用しやすいように、動く図書館のステーション配置を見直します。

⑨図書館サービスのデジタル化

豊中市立図書館では、セルフ貸出機や返却機の導入を進めるとともに、令和3年度（2021年度）にはWebで仮登録できるシステムの導入や、スマートフォンで利用者バーコードを表示し利用者カードの代替として使用できるデジタル化を進めてきました。今後は、電子書籍の拡充とともに、非来館で新規登録ができる方法やサービスポイントの無人化など、新たな図書館サービスのデジタル化に取り組みます。併せて、誰もがデジタル化に対応できるよう、利用支援を行うなどデジタルディバイドの解消に取り組みます。

⑩まちを活性化させる図書館サービスの展開

「地域の知の拠点」として多様な情報を扱う図書館と、社会課題や地域の魅力などをテーマに学びの支援を行う公民館、市の歴史と文化財の資料を扱う郷土資料館などが一体的に本市の社会教育を促進するとともに、まちを活性化させる拠点として、図書館の資料・情報提供機能を最大限に活かしたサービスを展開します。

V 参考



1 各図書館の徒歩圏内（800m）人口の算出

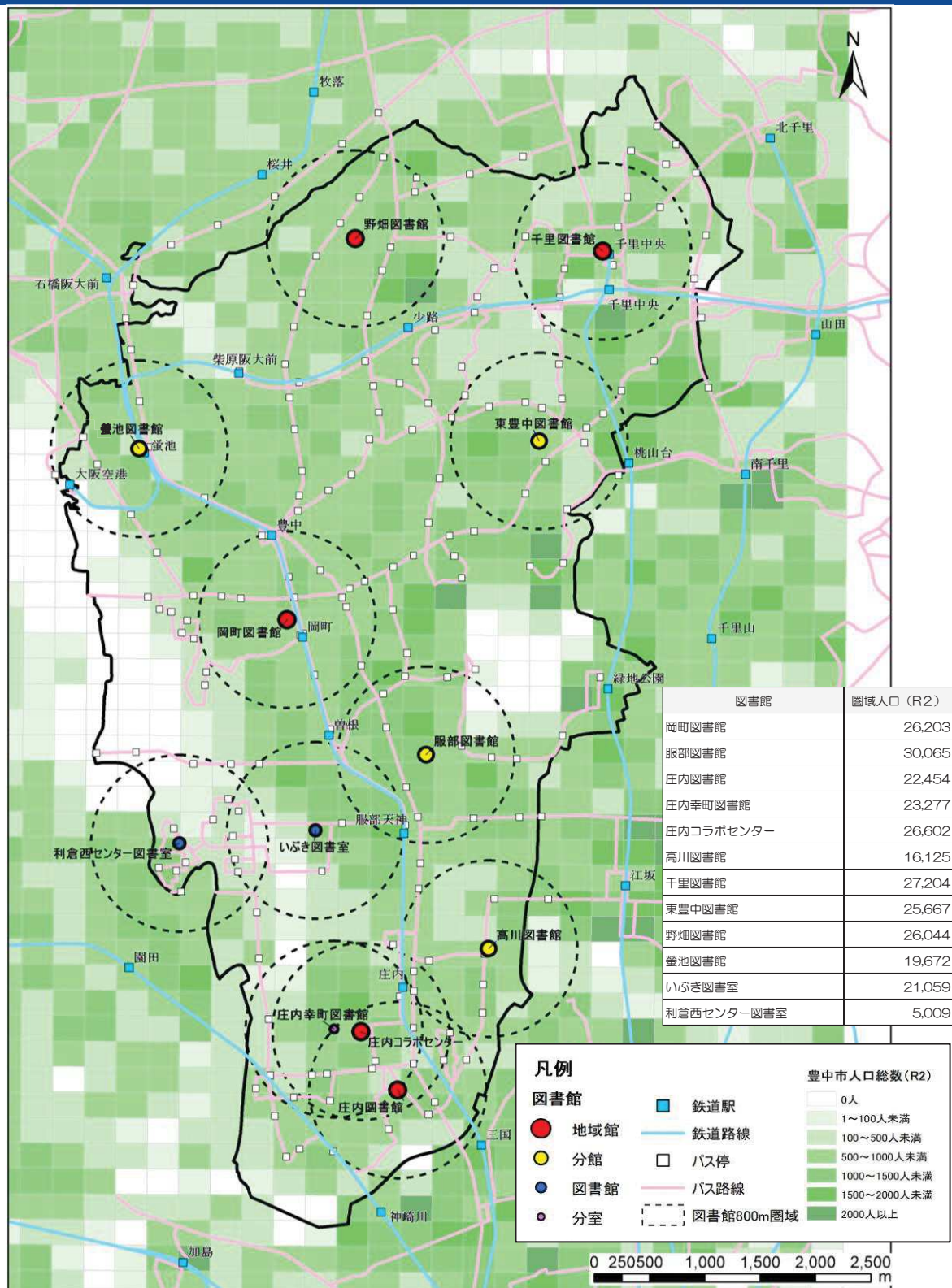


図 19 図書館の立地と図書館徒歩圏域人口の算定

2 各図書館への公共交通一路線によるアクセス

図 20 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

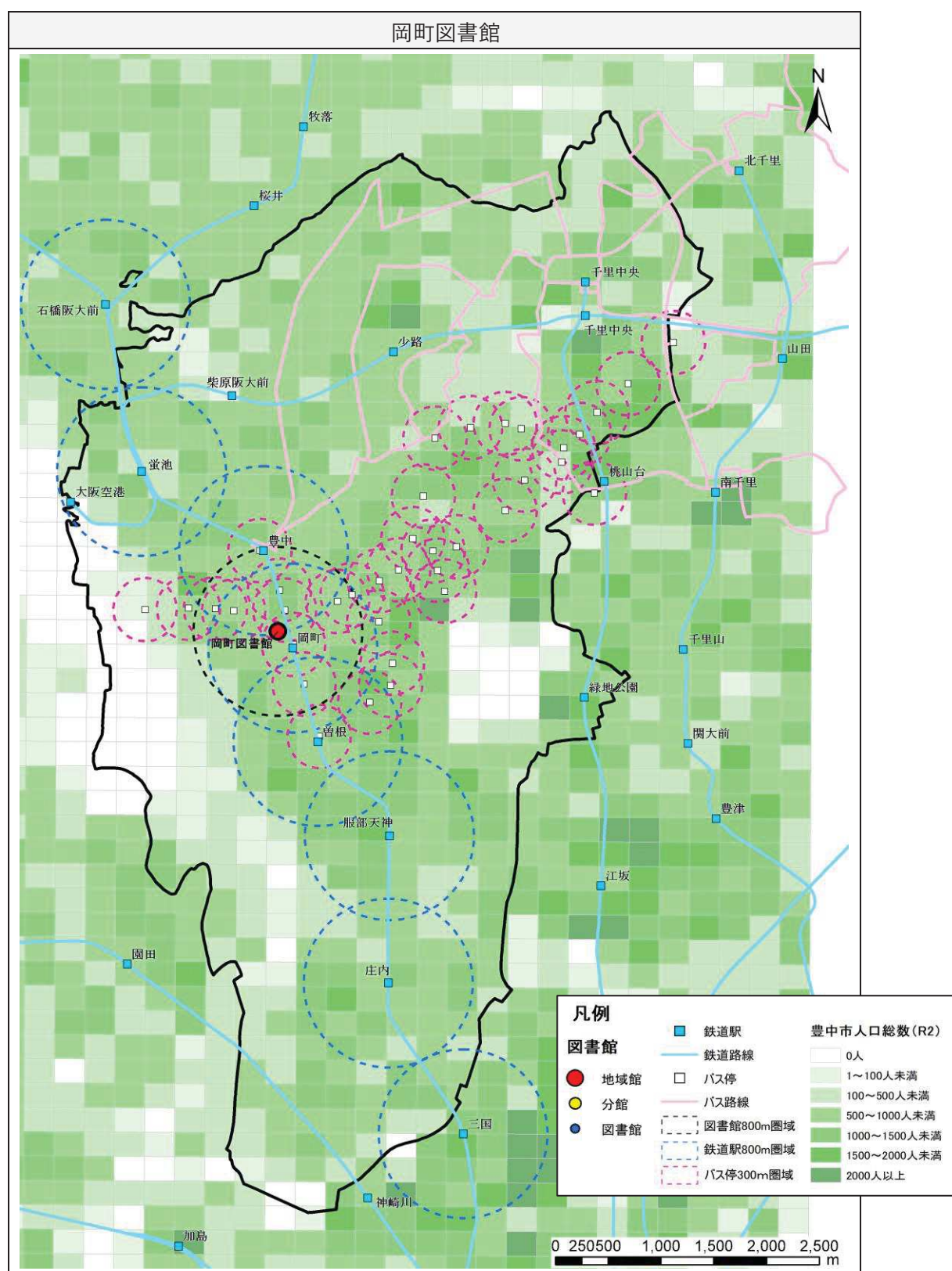


図 21 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

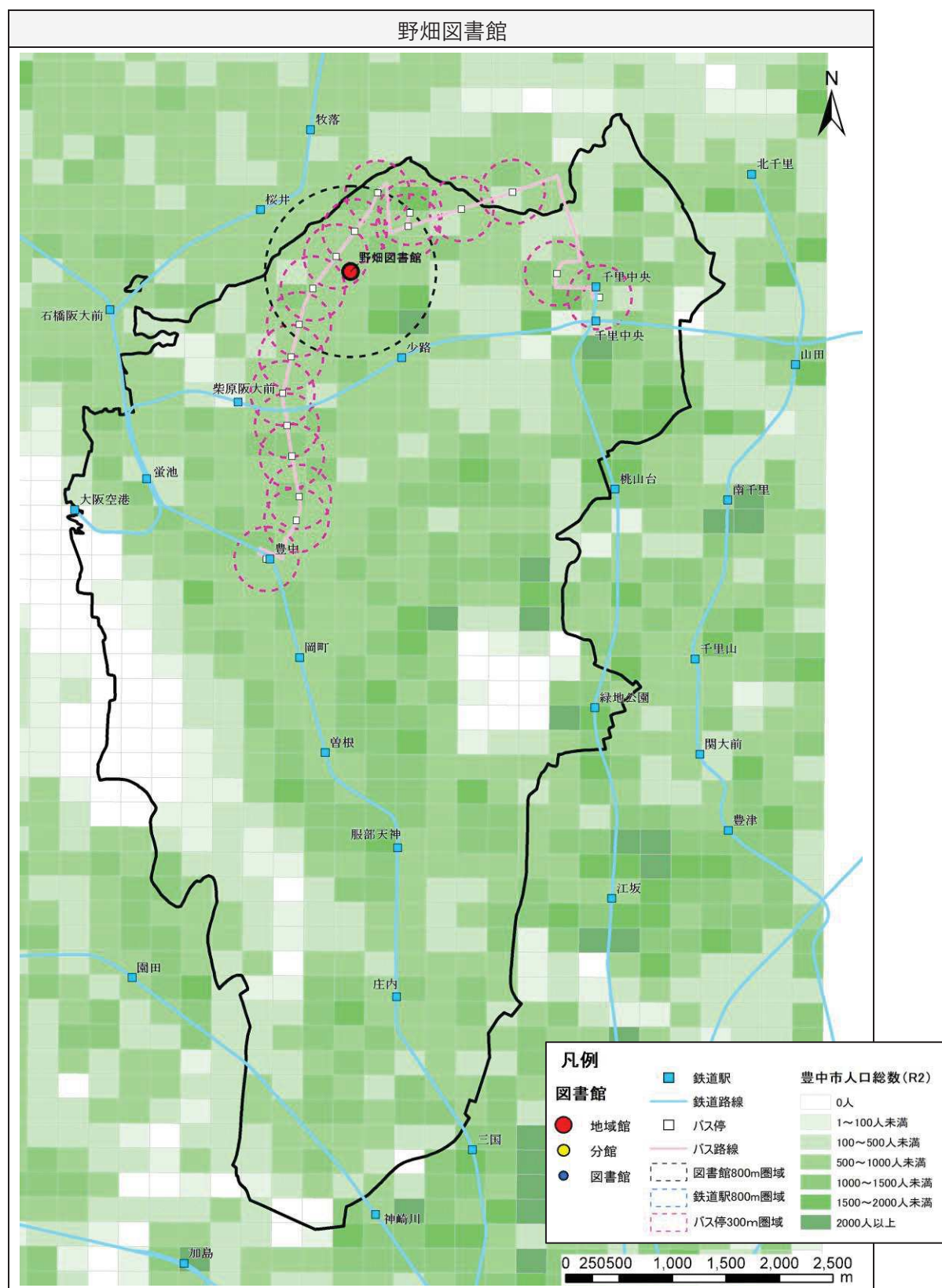


図 22 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

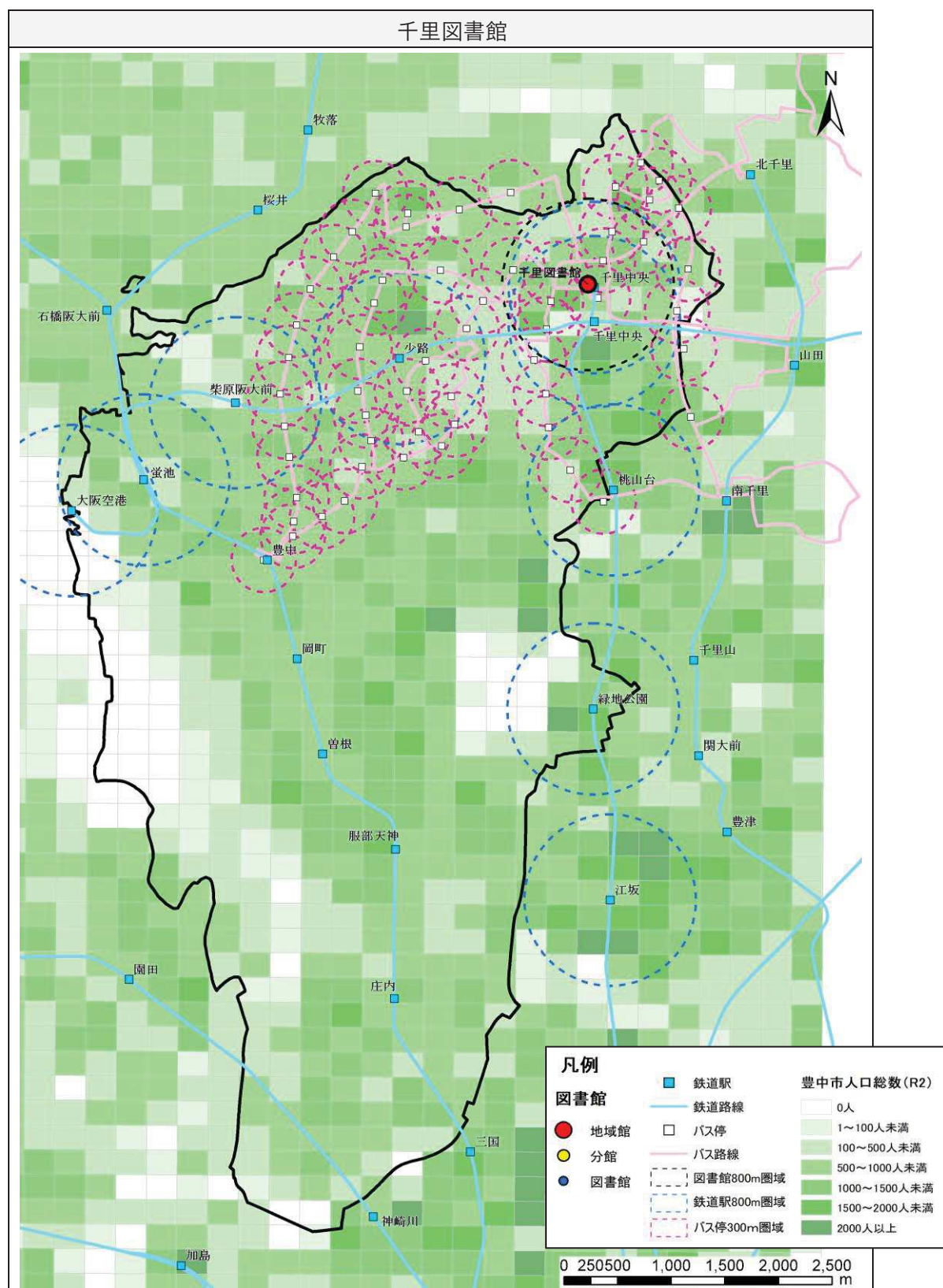


図 23 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

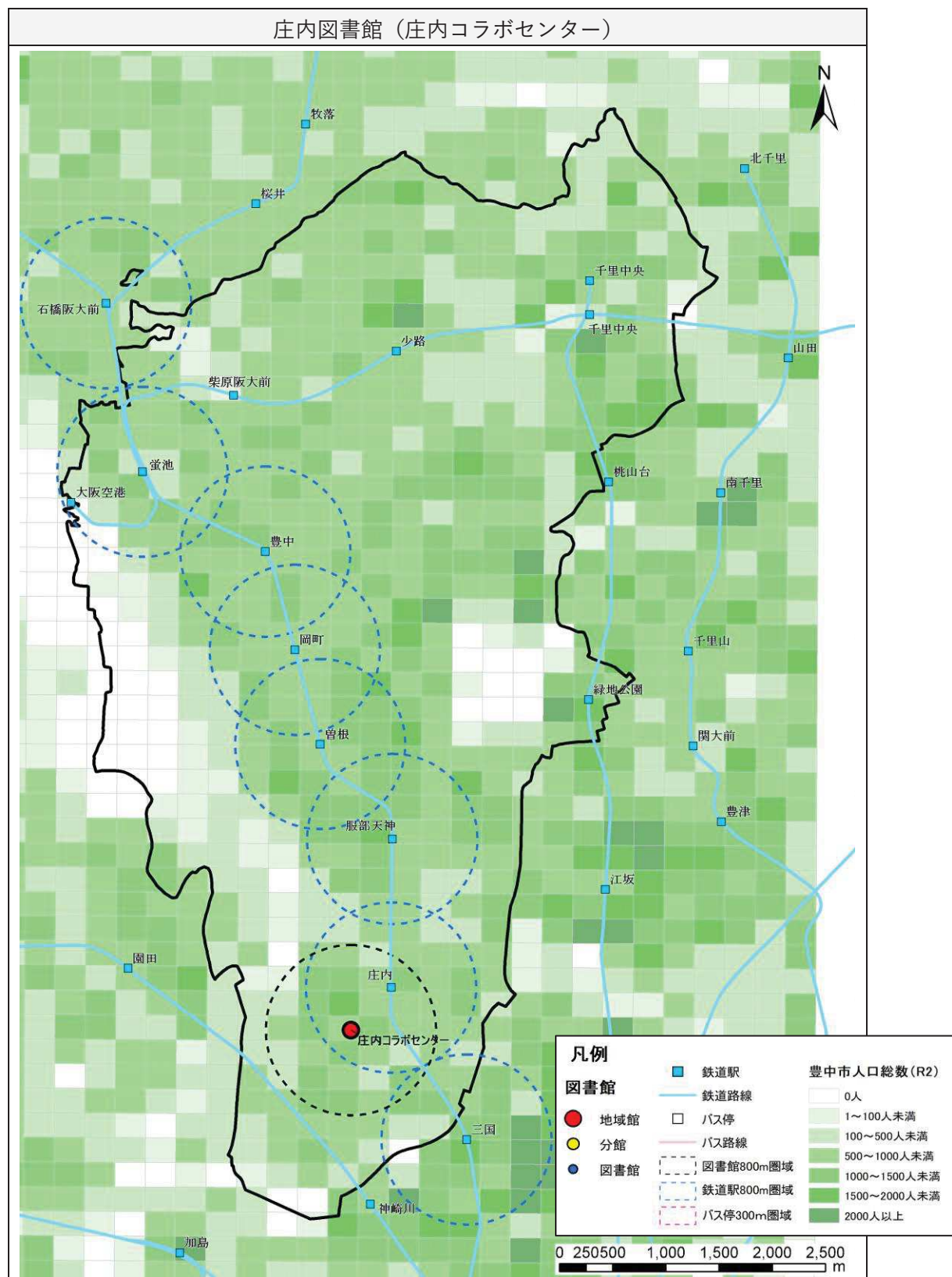


図 24 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

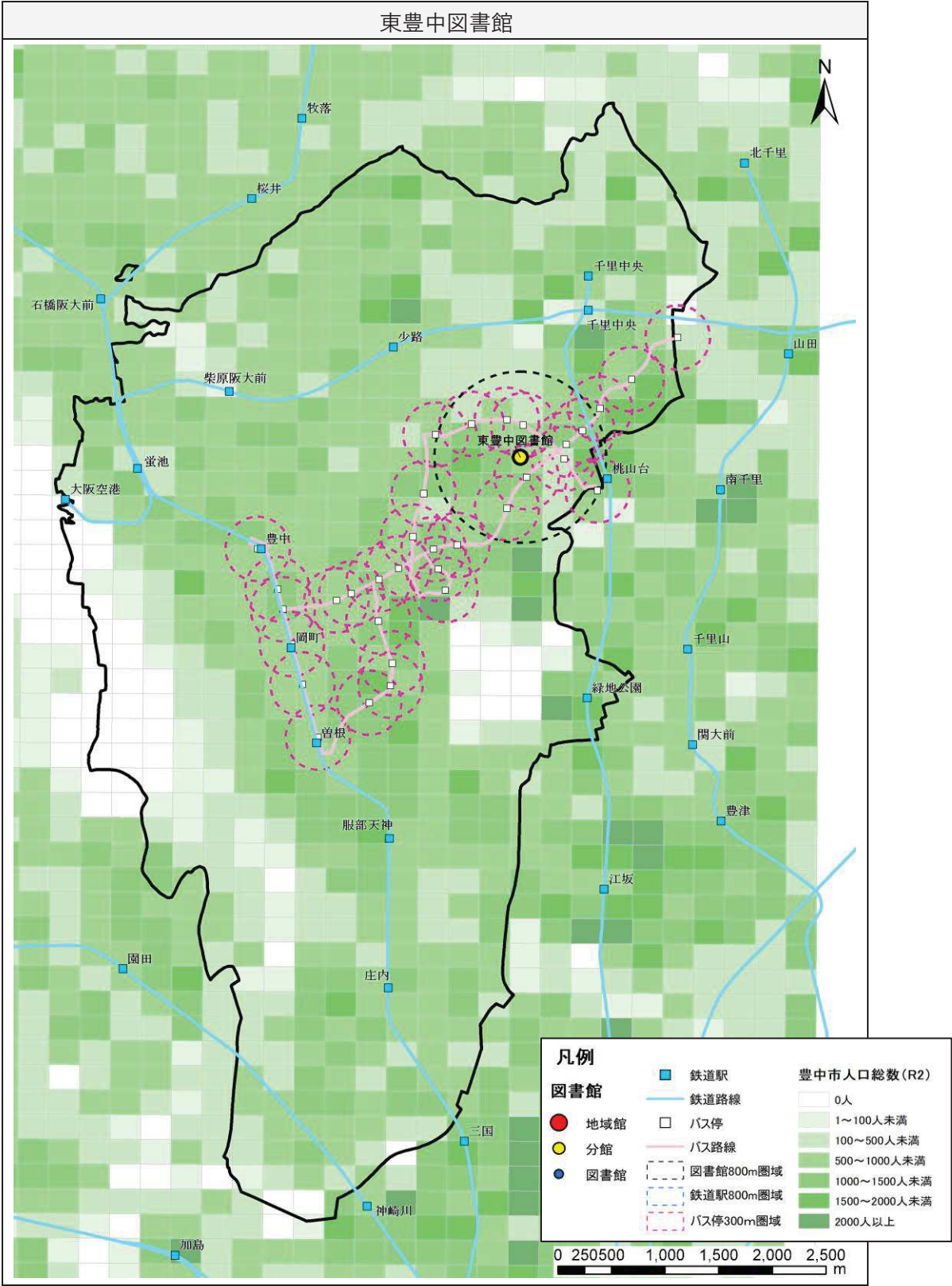


図 25 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

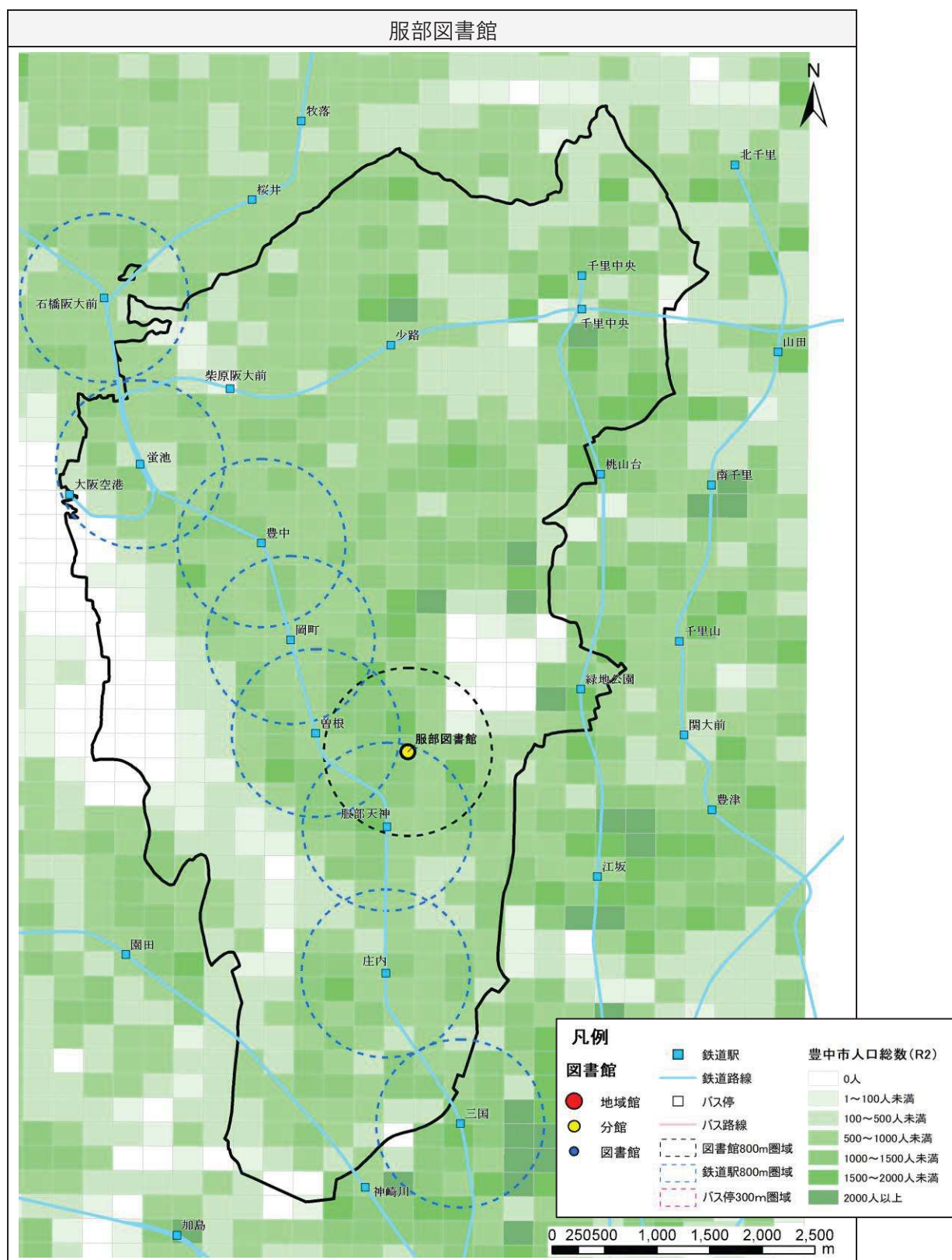


図 26 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

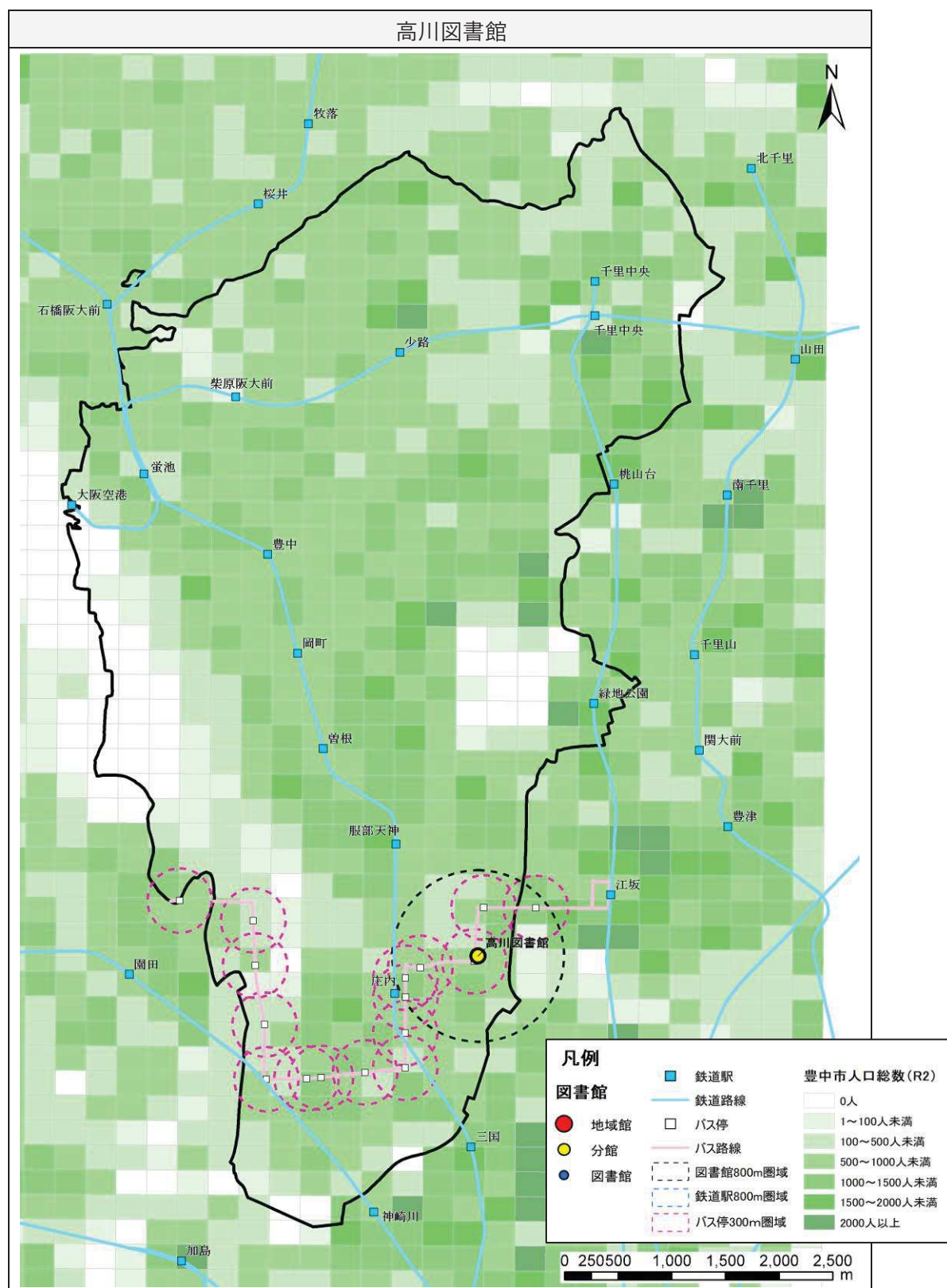


図 27 公共交通 1 路線と徒歩でアクセスできる範囲

